

早稲田大学 特許・研究シーズ一覧 2025年11月07日

種別	シーズ番号	分野	タイトル	研究者	シーズ概要	特許番号等	掲載日
研究	2025-1107-03	ライフ サイエンス	スマートフォンを用いた他 覚的眼屈折力測定システム	准教授 人間科学学術院 人間科学部			2025/11/07
特許	2881	ライフ サイエンス	プロリン、ヒドロキシプロ リン等のカルボキシ基がア ミド化されたペプチドの製 造法	教授 理工学術院 先進理工学部 応用化学科			2025/10/20
特許	2957	ライフ サイエンス	CRMP2リン酸化抑制による α -シヌクレイン蓄積の抑制 と α -シヌクレイン蓄積による引き起こされるシヌクレイノパチーの病態改善	教授 理工学術院 先進理工学部			2025/10/20
特許	2939	ライフ サイエンス	タンパク質安定化ポリペプ チド	教授 理工学術院 先進理工学部			2025/10/20
特許	2903	ライフ サイエンス	制御可能な磁石間引力を用いた骨格筋組織トレーニングデバイス	教授 理工学術院 基幹理工学部			2025/10/20
特許	2882	ライフ サイエンス	遊離のL-ヒスチジンをN- メチル化する酵素	教授 理工学術院 先進理工学部 応用化学科			2025/10/20
特許	2726	ライフ サイエンス	腕を下から支え追従する上 肢補助器	教授 理工学術院 大学院情報生産シス テム研究科	◆概要:腕の重さ分の負担を軽減.腕が角度を変えても追従、体の側面からはみ出さず他と干渉しない.◆解決法:遠隔運動中心(Remote Center of Motion)機構を用い、補助したい肩周りには機構がなくても肩関節を中心とした腕を上げる動作に追従、上腕の下(裏)から持ち上げるよう支持.電源不要のガススプリング使用.	特開2025-077 895	2025/07/08
特許	2912	ライフ サイエンス	情報処理装置、情報処理方法、およびプログラム	准教授 理工学術院 大学院先進理工学研 究科			2025/07/07
特許	2861	ライフ サイエンス	構造体、および構造体の製 造方法	教授 理工学術院 大学院情報生産シス テム研究科			2025/01/07
特許	2845	ライフ サイエンス	センサシステム、センサ、 リーダ、および測定方法	教授 理工学術院 大学院情報生産シス テム研究科			2024/12/05
特許	2837	ライフ サイエンス	共培養デバイスおよびその 使用	教授 理工学術院 基幹理工学部			2024/12/03
特許	2809	ライフ サイエンス	眼屈折力検査装置及び眼屈 折力検査方法	准教授 人間科学学術院 人間科学部			2024/10/01
特許	2789	ライフ サイエンス	切り紙グリッパー	教授 理工学術院 基幹理工学部			2024/07/05
研究	2024-0206-03	ライフ サイエンス	新しい化学反応⊠法の確⊠	講師 理工学術院 基幹理工学部			2024/02/06
研究	2024-0206-01	ライフ サイエンス	温度応答性蛍光ナノ粒子を 用いる多項目抗原同時検出 法	教授 理工学術院 先進理工学部			2024/02/06
研究	2023-1025-07	ライフ サイエンス	世界の動物輸血医療を変える人工赤血球	客員上級研究員 (当時)	◆ ウシHbを脂質膜で被覆したリポソーム型人工酸素運搬体◆ 特許技術による製造方法の確立 (特許6061343号、早稲田大学) ◆と畜牛の廃棄血液の有効活用による安定的確保		2023/10/25
研究	2023-1025-05	ライフ サイエンス	細胞老化の制御による創薬 : NASH, HCC治療薬を例と して	教授 人間科学学術院 人間科学部	◆スクリーニングの結果、非アルコール性脂肪性肝疾患/非ア ルコール性脂肪及び肝がんの予防・治療剤候補を同定した。		2023/10/25
研究	2023-1025-04	ライフ サイエンス	新奇な環状ペプチド "ジケトピペラジン(DKP)"のスマートバイオプロセスによる機能性の開発研究	教授 人間科学学術院 人間科学部	◆ 細胞内の品質管理を担うオートファジーを活性化することで、健康増進に寄与する可能性がある。◆ 開発研究によって、ある種のDKPに細胞内のオートファジーを活性化する作用を見出している。◆ オートファジーの活性化は、美容や妊活などにも機能することから、DKPの新奇の健康機能性を開拓できる。		2023/10/25
研究	2023-1025-03	ライフ サイエンス	株式会社BioPhenoMA 早稲 田大学から新規ベンチャー がスタート!	教授 教育·総合科学学術 院 教育学部	◆ 質量分析法などに比べて、圧倒的に簡便で迅速。前処理はほぼ不要。低価格も実現。◆ PCRによる核酸検出(NAAT)法と比べて、死菌・生菌などの区別が容易。◆ 創薬開発の効率化・個別化医療のほか、作用機序の解明により、新たな創薬・治療ターゲットの創出や、生物医学分野の更なる進歩に貢献。		2023/10/25
研究	2023-1025-02	ライフ サイエンス	タンパク質の極微量定量法 の検査への応用	教授 教育・総合科学学術 院 教育学部	◆ タンパク質を検出するシグナルを増幅すれば極微量のタンパ ク質も定量できる。◆ サンドイッチELISA法とthioNADサイクリ ング法とを組み合わた 「酵素サイクリング改良法」を用いる と極微量のタンパク質も定量できる。		2023/10/25

種別	シーズ番号	分野	タイトル	研究者	シーズ概要	特許番号等	掲載日
研究	2023-1025-01	ライフ サイエンス	酵素を複合化した高分子ファイバー・センサ〜気相での保存と使用ができ、生体ガスをイメージングする〜	教授 理工学術院 先進理工学部	◆ 酵素を自家蛍光が低い水溶性高分子に混合して電荷紡糸のみで作製。◆ ガス透過性に適したファイバー・メッシュ状センサ。◆ 気相で保存しそのまま使用できる。 まずエタノールガスの検出を実施。		2023/10/25
特許	2622	ライフ サイエンス	ヒートポンプ用性能モニタ リング装置	主任研究員 付属機関・学校 高等研究所			2023/03/09
研究	2022-1021-01	ライフ サイエンス	抗老化物質のスクリーニン グおよび評価技術	教授 人間科学学術院 人間科学部	◆ カロリー制限模倣物のスクリーニング方法◆ 寿命延長関連遺伝子およびその用途		2022/10/21
研究	2022-1020-09	ライフ サイエンス	細胞シート技術を用いた新 規不妊治療	非常勤講師 理工学術院 大学院先進理工学研 究科	◆ 受精卵を生着させた子宮内膜細胞シートを移植する不妊治療 を提案。		2022/10/20
研究	2022-1020-07	ライフ サイエンス	廃棄食品からのアップサイ クル培養肉の生産	非常勤講師 理工学術院 大学院先進理工学研 究科	◆ 培養肉の生産にかかるコストの主要な部分は、培養液の成長 因子や血清になる。(2万円/500 mL) ◆ 廃棄肉(牛・豚・ 鳥・魚)をホモジナイズした抽出液を基礎培地に含有させると 、成長因子フリー、 血清フリーで筋肉細胞を大量増幅可能 。廃棄食品からアミノ酸・成長因子・微量元素を抽出。		2022/10/20
研究	2022-1020-05	ライフ サイエンス	抗がん剤の罪	教授 教育・総合科学学術 院 教育学部	◆ 核酸は誰でも測定できる。しかし、本当に知りたいのは機能 する極微量のタンパク質のはず。◆ 超高感度ELISA 法を適用し て悪性化要因のタンパク質を検出する。		2022/10/20
研究	2022-1020-03	ライフ サイエンス	iACTセルフヘルプアプリ「 emol」を活用した妊産婦メ ンタルヘルス不調予防に関 する研究	教授 人間科学学術院 人間科学部	◆ iACT (Internet - acceptance and commitment therapy) セルフヘルプアプリによる非対面かつ場所を選ばない介入を実現する。		2022/10/20
研究	2022-1020-01	ライフ サイエンス	上皮細胞相互作用による非 免疫系を介した排除促進・ 抑制作用	付属機関・学校 高等研究所	◆ 正常・適合細胞が準適合細胞を排除する◆ リガンド-受容体を介した上皮細胞間コミュニケーション◆ 形質膜タンパク質を対象とした排除促進・抑制		2022/10/20
特許	2535DIV	ライフ サイエンス	医療システム及びそれを実 行する方法	教授 人間科学学術院 人間科学部		特開2022-683 62	2022/06/13
特許	2489	ライフ サイエンス	医療システム及びそれを実 行する方法	教授 人間科学学術院 人間科学部		特開2022-420 08	2022/05/02
特許	2446	ライフ サイエンス	自立膜、積層シート、及び 自立膜の製造方法	教授 理工学術院 先進理工学部		特許第742465 2号	2022/01/31
特許	2335	ライフ サイエンス	胚盤胞形成促進剤	教授 人間科学学術院 人間科学部		特許第750569 1号	2021/11/10
特許	2421	ライフ サイエンス	チップ固有乱数発生装置	特任教授(当時) 理工学術院 大学院情報生産シス テム研究科		特許第757573 4号	2021/11/10
研究	2021-0921-09	ライフ サイエンス	風船様変性を伴うin vitro NASH病態モデル	非常勤講師 理工学術院 大学院先進理工学研 究科	◆ ヒト線維芽細胞とヒト肝細胞を共培養し、温度応答性培養(U PCELL)を用いてシート状に回収 して高糖脂質環境で培養を 行うと、風船様変性を伴うNASH病態肝細胞が誘導される。		2021/10/08
研究	2021-0921-07	ライフ サイエンス	微弱な生体信号を高感度に 測る無線計測システム	教授 理工学術院 大学院情報生産シス テム研究科	◆ 新原理:パリティ・時間対称性共振結合回路 ◆ 検出回路のみに負性抵抗を追加(センサ側はそのまま利用) ◆ 抵抗・インダクタンス・キャパシタンス変化を無線計測		2021/10/08
研究	2021-0921-06	ライフ サイエンス	高効率な細胞内物質導入ス タンプおよび顕微鏡搭載シ ステム	教授 理工学術院 大学院情報生産シス テム研究科	◆ 新規材料:ナノチューブ(NT)膜を開発 ◆ 同時に,細胞にNTを挿入するためのシステムも開発 ◆ 新規材料による物理的な細胞内物質導入・抽出技術		2021/10/08
研究	2021-0921-05	ライフ サイエンス	ストレス物質モニター	客員上級研究員 (当時) 研究院(研究機関)	◆ 小型で取り扱いやすく応答の速いシリコントランジスタセンサ (図2) ◆ 由来の異なる複数のストレスマーカーを同時に検出し多面的に把握◆ 微量の唾液や汗からの簡便な検出を実現		2021/10/08
研究	2021-0921-04	ライフ サイエンス	経頭蓋直流電気刺激による 脳活動の変調が人の意思決 定に及ぼす影響	助教(当時) 人間科学学術院 人間科学部	◆ 経頭蓋直流電気刺激(tDCS)(図1)が、脳部位の神経活動を、 持続的に(数時間)高めたり弱めたりできることに着目。 ◆ 健常者を対象に、左右手の選択頻度を計測する課題中に(図2)tDCSによって手の選択に関与が示唆されている後頭頂葉の活動を変化させた。		2021/10/08
研究	2021-0921-03	ライフ サイエンス	上皮細胞相互作用による非 免疫系を介した排除抑制	付属機関・学校 高等研究所	◆ 正常・適合細胞が准適合細胞を排除する◆ リガンド-受容体を介した上皮細胞間コミュニケーション◆ 形質膜タンパク質を対象とした排除抑制		2021/10/08
研究	2021-0921-02	ライフ サイエンス	上皮細胞相互作用による非 免疫系を介した抗腫瘍作用	付属機関・学校 高等研究所	◆ 上皮細胞ががん変異細胞を排除する機構◆ リガンド-受容体を介した上皮細胞間コミュニケーション◆ 形質膜タンパク質を対象とした排除促進		2021/10/08
研究	2021-0921-01	ライフ サイエンス	痛みの緩和と脳内変化	教授 教育·総合科学学術 院 教育学部	◆ 痛み緩和時に左の背外側前頭前野(LDLPFC)で血流量の低下が認められた。 すなわち活性が落ちていた。		2021/10/08
研究	2021-0921-08	ライフ サイエンス	飲酒による肝臓を救う機能 性素材の研究開発	教授 人間科学学術院 人間科学部	◆ アルコールによる肝傷害を軽減する機能性素材を明らかにする。 ◆「二日酔い」などの飲酒による健康障害の原因物質であるアセトアルデヒドの肝細胞内での分解促進。◆ 細胞内アセトアルデヒド量を軽減する高濃度水素水生成装置を開発する。		2021/10/08

種別	シーズ番号	分野	タイトル	研究者	シーズ概要	特許番号等	掲載日
特許	2263	ライフ サイエンス	異種接合材の純モード 層間破壊靱性評価試験法の 開発	教授 理工学術院 基幹理工学部	◆ DCB試験の応用 ◆ 異種材接合に伴う混合モードの影響を除去 ◆ 熱残留応力の影響をキャンセル◆ 正確なモード I 層間破壊靱 性の評価	特許第727988 0号	2021/06/07
特許	2354	ライフ サイエンス	光スイッチ	教授 理工学術院 先進理工学部		特許第749156 5号	2021/01/12
研究	2020-1012-01	ライフ サイエンス	COVID-19の超高感度抗原検査	教授 教育・総合科学学術 院 教育学部	◆ 抗原 (タンパク質) を検出するシグナルを増幅することで高感度化が可能となる。我々は、サンドイッチELISA法にチオNADサイクリング法を組み合わせて、SARS-CoV-2のS1タンパク質を検出する超高感度抗原検査法を開発した。		2020/10/27
研究	2020-1012-04	ライフ サイエンス	バイオディーゼル原料植物 の増産に成功	教授 教育・総合科学学術 院 教育学部	◆ 種子からの油脂がバイオディーゼルの原料として利用される カメリナに着目した◆ シャジクモーシロイヌナズナ高速型キメ ラミオシンXI遺伝子をカメリナで異種発現させることで,種子 の増産に成功した		2020/10/27
研究	2020-1012-05	ライフ サイエンス	高感度DOI-PET検出器	教授 理工学術院 先進理工学部 応用物理学科	◆ 画像診断用PET装置の解像度向上◆ ガンマ線の吸収位置「3次元」計測 ◆ 磁場耐性の新しい半導体光センサー		2020/10/27
研究	2020-1012-06	ライフ サイエンス	膵β細胞を標的とする病型 を超えた新たな糖尿病治療 戦略	教授 理工学術院	◆ 機能的な膵 β 細胞数の増加◆ 分化転換による新たな膵 β 様細 胞の創出		2020/10/27
研究	2020-1012-07	ライフ サイエンス	皮膚疾患診断のための色順 応変換の一方法	教授 理工学術院	◆ 絶対的な色再現を放棄し、相対的な正しさの再現を目指す ◆ (用途に応じた) 基準色度座標を設定◆ 色画像の安定したホ ワイトバランスを実現		2020/10/27
特許	2062	ライフ サイエンス	生体外で創る血管病モデル と薬剤スクリーニングへの 応用	客員主任研究員 理工学術院 理工学術院総合研究 所	患者の血管病の病態に近似し、簡便かつ短期間で作製 可能で 、血管組織が正常から病態へと経時間的に変化す るプロセス を解明することが可能な、ex vivoの疾患モ デルの作製方法を 確立し、血管病の予防又は治療のため の薬剤のスクリーニン グに利用可能な疾患モデルを提供 することを課題とする。	特開2020-315 38	2020/04/14
研究	2019-1021-07	ライフ サイエンス	細胞の内在的賦活化を標的 とした化粧品開発	教授 人間科学学術院 人間科学部	◆ オートファジーによる細胞内浄化能を高めることで変性タンパク質の蓄積を軽減させる。 ◆ 損傷ミトコンドリアの除去機構(マイトファジー)を誘導し活性酸素の発生源を絶つ。 ◆ 細胞のストレス応答機構を高めることで加齢や環境ストレスから皮膚老化を内在的に防ぐ。		2019/10/21
研究	2019-1021-08	ライフ サイエンス	骨髄増殖性腫瘍の病態モニ タリング	教授 理工学術院	◆ JAK2V617F変異の変異率で蛍光強度が変化する核酸プローブを使用◆ 次世代シークエンサー (NGS) と同等の定量精度◆ 変異量の微細な変化をモニター可能		2019/10/21
研究	2019-1021-06	ライフ サイエンス	超高感度·高速生体分子検 出法	客員上級研究員 理工学術院	◆ 検出原理をアナログ方式からデジタル方式に転換する ◆ 1 分子を検出できる超高感度検出プローブを開発する◆ 高速1分 子デジタル計数法による定量技術を実用化する		2019/10/21
研究	2019-1021-03	ライフ サイエンス	ゆるんだコラーゲンを標的 としたセラノスティクス	教授 理工学術院	◆ 環状化することによる標的親和性の大幅な向上◆ 構造-活性 相関を用いた環状CMP(cyclic CMP, cCMP)デザインの最適化		2019/10/21
研究	2019-1021-02	ライフ サイエンス	カロリー制限による抗老化 作用を応用した機能性分子 の評価および探索	教授 人間科学学術院 人間科学部	◆ カロリー制限によるアンチエイジング作用を模倣する物質を同定する。 ◆ カロリー制限の効果を模倣する物質を評価する、迅速かつ簡便なスクリーニング系を開発した。◆ 動物実験と細胞実験のどちらでも、スクリーニング可能である。		2019/10/21
研究	2019-1021-01	ライフ サイエンス	早い!簡単!正確!オンリーワンの診断を目指して	教授 教育・総合科学学術 院 教育学部	◆ タンパク質そのものは増幅ができないので、得られてくるシグナルを増幅することが必要となる。そこで我々は、サンドイッチELISA法にチオ‐NADサイクリング法を組み合わせた極微量タンパク質の検出方法の開発に成功した。		2019/10/21
特許	2053	ライフ サイエンス	チキソトロピー性を有する ゲルを用いる多層3次元細 胞培養足場システム	教授 理工学術院 先進理工学部			2019/04/19
研究	2018-1123-09	ライフ サイエンス	耳内型持続温度計による高 体温障害予防	教授(当時) 人間科学学術院	◆ フィールドでの深部体温測定を可能とするデバイス作成◆ 環境温度や生体の状態(過剰な発汗や意識レベル、活動)に影響されにくいデバイス開発◆ 個人の連続測定が可能なデバイス作成		2018/11/23
研究	2018-1123-08	ライフ サイエンス	高感度トラップ法によるレ ポーター細胞作製技術	教授 理工学術院 先進理工学部	◆レポーター蛍光蛋白質の発現を増幅させるGAL4-UASシステム を導入		2018/11/23
研究	2018-1123-07	ライフ サイエンス	細胞分化調節活性を有する 天然有機化合物	教授 理工学術院	◆ ES細胞を用いたin vitro神経分化モデル ◆ 海洋生物・食品からの活性成分の探索		2018/11/23
研究	2018-1123-06	ライフ サイエンス	酵素反応と化学反応を組み 合わせたアミド合成法	教授 理工学術院 先進理工学部 応用化学科	◆ 酵素反応と化学反応をハイブリッドさせた画期的なアミド合成法 図 酵素反応:活性化酵素による基質のカルボン酸の活性化 図 化学反応:求核置換反応によるアミド結合形成		2018/11/23
研究	2018-1123-05	ライフ サイエンス	骨親和性の生体埋植材	客員上級研究員 (当時)	◆ 埋植材料の表面状態をナノレベルで精密に制御 ◆ 機能の異なる大きなナノ構造と小さなナノ構造の組合わせ◆ 曲面にも応用可能な構造形成技術		2018/11/23
研究	2018-1123-04	ライフ サイエンス	人工臓器作製のための人工 血管ユニット	教授 理工学術院 創造理工学部	◆ チタン線やハイドロゲルを用いて管腔構造を作製 血管内皮細胞を接着させたチタン線を用いることで人工血管構 造を作製 ◆ 作製した人工血管内へ灌流を行う		2018/11/23
研究	2018-1123-03	ライフ サイエンス	脳動脈瘤の再現モデル装置	客員主任研究員 理工学術院 理工学術院総合研究 所	◆ 脳動脈瘤の病態を体外で再現するex vivo技術の確立 ◆ 血 流負荷を作用させることにより正常から病態への過程を再現◆ 血流異常による血管の退行変性を経時的に再現・分析		2018/11/23
研究	2018-1123-02	ライフ サイエンス	革新的な植物増産・制御技 術:原形質流動の人工制御	教授 教育・総合科学学術 院 教育学部	◆ 植物共通の細胞内輸送である原形質流動の高速化の試み ◆ 流動を発生するモータータンパク質ミオシンXIのモーター を生物界最速シャジクモミオシンXIに置換		2018/11/23

種別	シーズ番号	分野	タイトル	研究者	シーズ概要	特許番号等	掲載日
研究	2018-1123-01	ライフ サイエンス	セルロースナノファイバー の再生医療応用 ~ チキソ トロピー性ゲルでの細胞培 養による組織作製 ~	教授 理工学術院 先進理工学部	◆ セルロースナノファイバー (CNF) のゲルを培養足場材料に使用 (Fig.1) ◆ マイクロ流体デバイスで同軸二層の長大なファイバー状のゲルを作製 (Fig.2,3) ◆ 内層のCNFゲルに細胞を包埋し3D培養して長大な筋や血管組織を作製 (Fig.2,4)		2018/11/23
特許	1907	ライフ サイエンス	アストロサイト分化促進用 組成物	教授 理工学術院		特許第688384 5号	2018/11/13
研究	2018-1026-04	ライフ サイエンス	CNTを用いた耐久性の高い 立体型櫛型電極	付属機関・学校 高等研究所	◆ 導電性基板上にダイレクトにCNTフォレストを高密度に成長させ高感度&耐久性の高い櫛型電極の提供。		2018/10/26
研究	2018-1026-03	ライフ サイエンス	金属電極上CNTフォレスト のパターニング成長	付属機関・学校 高等研究所	◆ 従来の微細化技術と組み合わせることで、導電性基板上にダイレクトに高密度CNTフォレストをパターニング成長させる技術の提供。		2018/10/26
研究	2018-1026-02	ライフ サイエンス ナノ・材料	生体動作・組織変形の計測用ナノシート	客員主任研究員 (当時)	◆ 高い柔軟性を有する高分子ナノシートを基材に利用◆ ナノシートに一定間隔のドットを標識◆ ドットの位置情報の変化を元に動作・変形を推定		2018/10/26
特許	1903	ライフ サイエンス	最適特性を有する非天然型 タンパク質の製造方法	教授 理工学術院		特許第691705 0号	2018/10/08
研究	2018-0927-03	ライフ サイエンス	遺伝暗号の新たな方向での 改変を活用したタンパク質 の進化工学	教授 理工学術院	◆ 被修飾部位が限定されたタンパク質を進化分子工学によって 創製◆ 特定のアミノ酸を含まない「単純化遺伝暗号」が鍵◆ 「 移動平均暗号表」の活用で、進化の「死の谷」を克服		2018/09/27
研究	2018-0927-08	ライフ サイエンス	労作時の熱中症撲滅を目指 した体温測定デバイスとア ルゴリズム開発	教授(当時) 人間科学学術院	◆ フィールドでの深部体温測定を可能とするデバイス作成◆ 心 拍数と深部体温の連続測定に基づく危険予測アルゴリズム◆ 生 体データの蓄積や個人口グによる早期の異常察知		2018/09/27
研究	2018-0927-07	ライフ サイエンス	皮膚に優しいケミカル健康 モニタ	客員上級研究員 (当時) 研究院(研究機関)	 ◆ 高分子ナノシートで超小型センサモジュールを皮膚に貼り付け (Fig. 2(a)) ◆ 量産に適したシリコンpH (イオン) センサチップと超小型参照電極 (Fig. 2(b)) ◆ 近接通信 (NFC) により電池なしでセンサを直接駆動 (Fig. 2(c)) 		2018/09/27
研究	2018-0927-06	ライフ サイエンス	導電性高分子の芯層導入で 生体組織形成の誘導能を高 めたマイクロファイバー培 養足場	教授 理工学術院 先進理工学部	◆ 筋形成には筋芽細胞を配列し得るマイクロファイバー足場が 有効(図1)。◆ 電位の負荷により筋組織や神経組織形成を促進 ; 導電性高分子の利用。◆ 導電性高分子PEDOT/PSSを芯層に導 入したファイバーを開発(図2)。		2018/09/27
研究	2018-0927-05	ライフ サイエンス ナノ・材料	がん医療への応用に向けた 磁性ナノ粒子の開発	特任研究教授 (当時)	◆ 粒径制御(10~40nm)した磁性酸化鉄(マグネタイト)ナノ 粒子◆ 有機アミンで表面修飾された粒子の水溶液への高い分散 性◆ 磁性ナノ粒子の細胞への内包とその利用		2018/09/27
研究	2018-0927-04	ライフ サイエンス	異常タンパク質の細胞内蓄 積を標的とした薬剤スクリ ーニング	教授 人間科学学術院 人間科学部	◆ 異常タンパク質の細胞内蓄積に関わる品質管理機構を理解する(図2)。◆ 様々なタンパク質品質管理機構を標的とした薬剤スクリーニング系を開発する。		2018/09/27
研究	2018-0927-02	ライフ サイエンス	3重らせんペプチドに基づ いた人工コラーゲン様マテ リアルの開発	教授 理工学術院	◆ 化学合成したペプチドをクロスリンクすることで高分子化◆ 天然コラーゲン由来の生物活性配列を組み込む◆ ゲルを乾燥・ 再水和することで透明な膜に加工		2018/09/27
研究	2018-0927-01	ライフ サイエンス ナノ・材料	細胞機能を自在に制御・改 変する技術 ~Nano-heate rによる細胞熱力学エンジ ニアリング~	理工学術院 理工学術院総合研究 所	◆ 細胞内の「Heat Spot」の温度をリアルタイムで計測しながら、リモート制御でナノ・マイクロスケールの空間に熱的なストレスを加えることができる独自の技術(Nano Heater)。		2018/09/27
特許	1889	ライフ サイエンス	ニューレグリン1α様活性 を有するポリペプチド及び 糖尿病治療用医薬組成物	教授 理工学術院		特許第686953 0号	2018/09/12
特許	1860	ライフ サイエンス	フェルラ酸誘導体含有組成 物及びその製造方法	教授 理工学術院	本発明は、フェルラ酸誘導体を含有する医薬組成物及び食品組成物等の組成物及びその製造方法に関するものである。	特許第679275 3号	2018/07/13
研究	2016-1024-08	ライフ サイエンス	CHRNA7断片を用いたアミロ イド8検出法	理工学術院 大学院先進理工学研 究科	◆ CHRNA7のAB結合部位(約50アミノ酸)を同定◆ 精製したGST- CHRNA7断片用いたAB検出法の検討◆ 膜に吸着したCHRNA7断片に 対するABの結合性を確認		2016/10/24
研究	2016-1024-07	ライフ サイエンス	新規脳ホルモンGnIHによる 思春期早発症と生殖機能障 害の新規治療法の開発	教授(当時) 教育・総合科学学術院 教育学部	◆ 生殖機能を抑制する新規脳ホルモン(GnIH)を発見(図1)◆ 生殖機能を抑制するGnIH/GNIH作用の分子機構の解明 - GnIH /GNIHの機能低下が導く中枢性思春期早発症(図2) - GnIH/ GNIHの機能亢進が導く中枢性生殖機能障害(図3)		2016/10/24
研究	2016-1024-06	ライフ サイエンス	コラーゲン様構造を有する 重合ペプチド及びゲル	教授 理工学術院	◆ 化学合成した3重らせんをSS結合で重合させたマテリアル (図1)◆ ハイドロゲルや透明なフィルム状などの形状に加工が可能 (図2)◆ コラーゲン上の機能配列を導入して細胞接着などを制御できる (図3)◆ ゲルの硬さを変化させることによって細胞の振る舞いを制御できる (図4)		2016/10/24
研究	2016-1024-03	ライフ サイエンス	紙とマイクロファイバーの 重層化基材を用いた自律駆 動型灌流培養システム	教授 理工学術院 先進理工学部	◆ 細胞接着性に優れるゼラチンを材料に、紙の上にエレクトロスピニングで紡糸したマイクロファイバーを培養層に使用(図1)◆ 紙の毛細管現象とサイフォン原理により自律的に培養液を灌流させる(図2)。培養液面の高低差で流量制御可能		2016/10/24
研究	2016-1024-02	ライフ サイエンス	創薬・診断のためのオンチ ップ臓器モデル技術	安田 賢二 教授 理工学術院 先進理工学部	◆ 細胞精製・3次元細胞ネットワーク配置・非侵襲 1 細胞計測 技術を組み合わせたオンチップ臓器モデル技術は従来の分子生 物学的計測手法では計測できなかった細胞集団のダイナミクス 解析を可能にした。		2016/10/24
研究	2016-1024-01	ライフ サイエンス	生体組織の空間オミクス解析を可能にする微小組織採取システム	准教授 研究院(研究機関)	◆ 微小組織を高速・自動的に採取するシステムを開発◆ 顕微鏡像から指定した組織領域を連続的に採取◆ 組織片はプレートに回収され、様々な解析に利用可能		2016/10/24

種別	シーズ番号	分野	タイトル	研究者	シーズ概要	特許番号等	掲載日
研究	2016-0614-02	ライフ サイエンス	顎顔面マッサージロボット	教授 理工学術院 理工学術院総合研究 所	顎関節症等の疾患に有効な顎顔面マッサージを行うロボットの 設計ならびに制御に関する技術. この技術を用いることで, 熟 練した施術者が行うような力強さとしなやかさを兼ね備えたマ ッサージが可能.		2016/07/14
特許	1808	ライフ サイエンス	皮膚表面 p Hの測定法	特任研究教授 (当時)	■動物(ヒト、イヌ、ネコ、サルなど)の皮膚表面の p Hを測定する方法。	第6692542号	2016/06/06
研究	2015-1023-05	ライフ サイエンス	膜分離装置を用いたタンパ ク質の結晶化手法	講師 理工学術院 先進理工学部	・限外濾過膜を用いることでタンパク質溶液を濃縮・圧力制御 により濃縮速度を任意に制御・タンパク質結晶を容易に分離回 収が可能		2015/10/23
研究	2015-1023-04	ライフ サイエンス	食肉の加熱処理評価法	教授 理工学術院 先進理工学部	加熱処理によって起こるタンパク質の変性を、ラマン分光分析 法を用いて観測し、試料の加熱処理状態を判定する。		2015/10/23
研究	2015-1023-03	ライフ サイエンス	新規の抗菌性ペプチド	教授 理工学術院	3重らせん構造で、かつ、N末付近にArgクラスター、C末にジスルフィド架橋を有する新規の抗菌活性ペプチド		2015/10/23
研究	2015-1023-01	ライフ サイエンス	再構成クロマチンを基質と した相同組換え反応解析系	客員教授(当時) 理工学術院 先進理工学部	・RAD51およびDMC1依存的な相同組換え反応を評価するin vitr o解析系・クロマチン基質を試験管内で再構成・クロマチンを 基質としたin vitro相同組換え解析系の確立		2015/10/23
研究	2015-1022-04	ライフ サイエンス	高血糖によるエピゲノム異 常の抑制剤	教授 理工学術院	高血糖はエピゲノムの変化を起こすのだろうか? その場合、 高血糖によるエピゲノム異常を抑制できる化合物は予防・ 治 療を期待できる。		2015/10/23
研究	2015-1022-03	ライフ サイエンス	神経細胞分化促進剤	教授 理工学術院	・ニューロン分化に特異的な促進または阻害活性を有する age ladine A誘導体シリーズ		2015/10/23
研究	2015-1022-02	ライフ サイエンス	培養細胞を用いた高効率ス クリーニング系	教授 理工学術院 先進理工学部	・培養細胞株に評価対象遺伝子をレトロウイルスにより導入した後、様々な培養環境(増殖因子の有無、培養基質等)における細胞の挙動を観察することにより、細胞増殖・細胞運動(遊走、浸潤)・癌化などのアッセイを行う。・従来大きな培養面積を必要としていたアッセイについて、96wellプレートを用いた条件最適化に成功した。		2015/10/23
研究	2015-1022-01	ライフ サイエンス	体内時計をターゲットにした機能性表示食品開発	教授(当時) 理工学術院 先進理工学部	・ 細胞評価系で、大規模スクリーニングを行う(fig.1)・ 振幅、位相、周期に効くものを選択・ 朝食用、夕食用の機能性食品成分のスクリーニング(fig2)・ 動物とヒトの時計遺伝子で振幅、位相、周期を評価する(fig.3)		2015/10/22
研究	2015-0303-02	ライフ サイエンス	静的ストレッチングの評価 手法	教授(当時) 理工学術院 創造理工学部	・筋緊張の定量的評価・緊張緩和の発生を検出・簡易な押込み 反力計測		2015/03/03
研究	2015-0303-01	ライフ サイエンス	ロボットによる乳がん診断 ・治療支援	教授(当時) 理工学術院 創造理工学部	・触診のように体表からがんの位置や硬さを計測・圧迫プロー ブを用いて,治療針でがんを精確に穿刺		2015/03/03
研究	2015-0302-01	ライフ サイエンス	立脚期を対称化する歩行リ ハビリロボット	教授(当時) 理工学術院 創造理工学部	・立脚期を対称化するロボット・リアルタイムに立脚期を提示 ・左右のベルトの速度差により立脚期を対称化		2015/03/02
研究	2015-0302-07	ライフ サイエンス	焼灼支援システムの開発	教授(当時) 理工学術院 創造理工学部	・ロボット技術を応用した精確な癌焼灼を目指した研究・術中 での焼灼に関連する物理量のセンシング手法および推定手法の 構築		2015/03/02
研究	2015-0302-06	ライフ サイエンス	画像処理の内視鏡下手術応 用	教授(当時) 理工学術院 創造理工学部	・画像処理技術により従来不可能であった視野を実現・既存の 医療機器の組み合わせによるシステム構築		2015/03/02
研究	2015-0302-05	ライフ サイエンス	筋隆起位置変化に基づくロ ボット制御	教授(当時) 理工学術院 創造理工学部	・新たな筋活動信号に基づくロボット制御技術開発・筋隆起位 置の変化に基づいた動作量推定		2015/03/02
研究	2015-0302-04	ライフ サイエンス	つまずき予測検知システム 及びつまずき防止システム	教授(当時) 理工学術院 創造理工学部	・つまずきの予測検知・装着感の良い装着型デバイスの実現		2015/03/02
研究	2015-0302-03	ライフ サイエンス	力覚を用いた方向提示デバ イス	教授(当時) 理工学術院 創造理工学部	・力覚を用いた方向提示・2個の偏心錘の遠心力を力覚として 提示・任意の方向へ提示可能		2015/03/02
研究	2015-0302-02	ライフ サイエンス	理学療法士の手技を再現 するロボット	教授(当時) 理工学術院 創造理工学部	・理学療法士の手技を再現するロボット・手技の特性に基づい たモデルの構築・患者に応じた手技をロボットにより実現		2015/03/02
研究	2014-0122-08	ライフ サイエンス ナノ・材料	光学顕微鏡を用いた局所温 度測定	研究院(研究機関) 重点領域研究機構	・ポリマーナノ粒子型の蛍光ナノ温度計・ナノ粒子の直径は約 100nm、位置決め精度は数nm、温度分解能は約0.3℃・カメラの 速度に依存した高い時間分解能(数10 ms~数10μs程度)		2014/01/31
特許	1117	ライフ サイエンス	JAK2遺伝子の変異解析 方法	教授 理工学術院	慢性骨髄増殖性疾患(MPD)に見られるJAK2遺伝子変異の測定方法として蛍光プローブを用いる。高感度、簡便、低コスト、ハイスループットに定量可能。 医薬品のスクリーニング方法などへの応用も期待される。	第5787304号	2013/12/25
特許	939	ライフ サイエンス	模擬狭窄血管及びその製造 方法	教授 理工学術院 大学院先進理工学研 究科 共同先端生命医科学 専攻	血管が石灰化したことによる狭窄病変状態をモデル化した人工 血管およびその製造方法に関する発明。 シリコーンに炭酸カルシウム粉末を混ぜてモールドの狭窄部に 塗布し、ポリエチレン樹脂製チューブで被覆した後、チューブ モデル全体をシリコーンで塗布することによって、実際のヒト の狭窄血管に近い弾性を得られる。	第5136993号	2013/12/25
特許	617	ライフ サイエンス	好中球機能検査システムお よび好中球機能検査方法	教授 スポーツ科学学術院 スポーツ科学部	走化性細胞・生物を分離可能なハイドロゲルと化学発光法を用いた好中球機能検査システムを提案している。本システムは、全血を用いて、簡便に、寿命の短い好中球の機能(遊走能・活性酸素産生能)を定量的に測定可能である。現在、リコピンやペクチンなどに対する好中球の抗酸化力測定等を検討している。	第4869020号	2013/12/25

種別	シーズ番号	分野	タイトル	研究者	シーズ概要	特許番号等	掲載日
研究	2013-1022-06	ライフ サイエンス	クエン酸濃度の迅速測定法	教授 理工学術院 先進理工学部 応用化学科	・従来法(15分程)と異なり、数秒で測定可能・有機溶媒や高価な酵素を用いず、検出感度が高い		2013/10/25
研究	2013-1022-05	ライフ サイエンス	機能性ペプチドの合成法	教授 理工学術院 先進理工学部 応用化学科	・非リボソーム型ペプチド合成酵素(NRPS)由来のモジュールやドメインを利用したジペプチド合成・特定アミノ酸に限定されないジペプチド合成技術		2013/10/25
研究	2013-1022-04	ライフ サイエンス	海洋天然化合物	教授 理工学術院	・海洋無脊椎動物は低分子化合物の宝庫・エピジェネティクス 研究のツール		2013/10/25
研究	2013-1022-03	ライフ サイエンス	生体内常在性物質による抗 がん作用	教授(当時) 教育・総合科学学術 院	・がん細胞に対して選択的に死滅・増殖抑制させる化合物Xを発見した・化合物Xは生体内に常在する物質であるため副作用がない		2013/10/25
研究	2013-1022-01	ライフ サイエンス	コラーゲンを用いる新規DD S	教授 理工学術院	・ステルス性と高尿排泄性を持つ今までに無い薬物担体・抗原性が低く安定		2013/10/25
研究	2013-1021-03	ライフ サイエンス	人工赤血球の新しい臨床応 用	客員上級研究員 (当時) 研究院(研究機関) 重点領域研究機構	・人工赤血球(Hb小胞体)の製造法を確立・安全性・有効性の膨大なデータを保有・カプセル化により分子状Hbの毒性を回避		2013/10/25
研究	2013-1021-02	ライフ サイエンス	諸物性がデザインできる " テーラーメイド輸送体によ るDDS"	客員上級研究員 理工学術院	・創薬とDrug Delivery Systems(DDS)を融合させるプラットフォーム・ナノ輸送体の物性デザインにより薬物動態を制御(独自の機能性脂質ライブラリーを使用)・新薬開発の加速、付加価値DDS製剤の創出		2013/10/25
研究	2013-1021-01	ライフ サイエンス	高感度DOI-PET検出器	教授 理工学術院 先進理工学部 応用物理学科	・画像診断用PET装置の解像度向上・ガンマ線の吸収位置「3 次元」計測 ・磁場耐性の新しい半導体光センサー		2013/10/25
研究	2013-1017-03	ライフ サイエンス	非侵襲的内出血抽出アルゴ リズム	教授 理工学術院 創造理工学部	・救急医療における内出血検出 (FAST) の感度向上・超音 波画像処理に基づき血液貯留の疑義箇所を抽出する診断支援シ ステムの構築		2013/10/25
研究	2013-1017-02	ライフ サイエンス	モバイル端末操作型エコー 遠隔診断ロボット	教授 理工学術院 創造理工学部	・遠隔地医師によるモバイル端末の操作で、救急搬送中の外傷 患者の内出血の有無を診断可能・開発した操作アプリ・ロボット・通信技術を妊婦健診に活用することで新たなビジネスプランを創出		2013/10/25
研究	2013-1017-01	ライフ サイエンス	非侵襲メラノーマ診断支援 システム	教授 理工学術院	・非侵襲的方法によるメラノーマの早期発見・色素分子レベル の情報に基づく客観的かつ定量的な診断支援		2013/10/25
研究	2013-0130-18	ライフ サイエンス	下肢運動機能の解析に基づいた設備や装具の開発	教授 人間科学学術院 人間科学部	視覚障がい者誘導用ブロックや傾いた障がい物などが、健常者 ・高齢者・けがをした人たちの歩行に与える影響の分析(歩行 における負担やつまずく危険の検討)。歩行における足部の構 造(土踏まずなど)や力学的特性の解明床材の特性に着目した 視覚障がい者への情報提供手法の評価と提案		2013/01/30
研究	2013-0130-17	ライフ サイエンス	皮膚感覚特性を利用したイ ンターフェース	教授 人間科学学術院 人間科学部	視覚障がい者への情報提示設計接触面積の違い、層構造や硬さ (ヤング率)、滑りやすさ、など様々な触覚センシングの特性 分析と、それを活用したデバイスの提案振動刺激がもたらす上 腕伸展錯覚の分析		2013/01/30
研究	2013-0130-16	ライフ サイエンス	注意訓練による気分障害の改善手法	教授 人間科学学術院 人間科学部	うつ病によく見られる「反芻(はんすう)思考=過ぎたことを何度も思い出して苦しむこと」に着目し、注意訓練により反芻を減らす神経行動療法の開発を行っている。fMRIや光トポグラフィを利用して関連する脳部位の変化を把握することで、より患者の症状にあった治療を提供する。		2013/01/30
研究	2013-0130-15	ライフ サイエンス	脳活動測定による快適さ評 価	教授 人間科学学術院 人間科学部	光トポグラフィ (NIRS)による脳血流リアルタイム計測を利用することで、快適さや感情状態など主観的な状態の数値指標を提供する。より効果的な刺激条件や設計などを探索する助けとなる。		2013/01/30
研究	2013-0130-14	ライフ サイエンス	動作エラーと運動学習の脳 内処理機構	教授 スポーツ科学学術院 スポーツ科学部	前帯状皮質(anterior cingulate cortex)の活動をエラー関連 陰性電位から測定。注意や報酬に伴う学習の進行過程について 、脳波や脳イメージング、TMS(経頭蓋磁気刺激法)、アイト ラッカー(眼球運動計測)等を用いて分析する。		2013/01/30
研究	2013-0130-13	ライフ サイエンス	スポーツと睡眠	教授(当時) スポーツ科学学術院 スポーツ科学部	身体運動が夜間睡眠に与える影響について。睡眠を改善するためにどのような運動が適切か。うつ病の運動療法の可能性。気分の改善に運動が治療的な効果を持っているかについての研究。		2013/01/30
研究	2013-0130-12	ライフ サイエンス	局所的な血流制限下の筋力 (加圧)トレーニング法の 開発と応用	教授 スポーツ科学学術院 スポーツ科学部	中長期的に局所的な血流制限下で筋収縮を繰り返す(加圧トレーニング)と、運動強度が極端に低くとも高強度の場合に匹敵する筋肥大を伴った筋力増大(①)と血管内皮機能改善(②)などを引き起こす。 さらに、加圧トレーニングでは運動開始直後から一次運動野 (加計) 及び皮質脊髄器の興奮性が高まる(③)ので、定期的な(加圧トレ)実施によって皮質運動野を中心とした脳活動を少しでも高いレベルで賦活させ、サルコベニア(加齢による骨格筋量の低下)の程度を多少なりとも低減できると考えられる。		2013/01/30
研究	2013-0130-11	ライフ サイエンス	スポーツスキルの解析	教授(当時) スポーツ科学学術院 スポーツ科学部	バッティングやピッチングなどにおいて、フルボディモーションキャプチャやフォースプレート等を用いた身体的パフォーマンス、バットスイングやボール回転、手指運動や視覚認知運動の精密測定など多様な解析手法から、軌跡の再現性等に着目したスキル評価を行っている。		2013/01/30
研究	2013-0130-10	ライフ サイエンス	ボディ・イメージ研究に基 づくコーチング技術、それ らをいかしたスポーツ推進 活動	教授(当時) スポーツ科学学術院 スポーツ科学部	実際の動きを伴わずに動作を想起する「ボディ・イメージ」中の脳活動や、自分の理想とする運動と実際の動きのギャップを計測・分析している。具体的には宙返りやけ上がり動作、皮膚感覚を伴う運動、道具を用いた動作などについて、非侵襲脳画像やバイオメカニクス測定を行っている。		2013/01/30

種別	シーズ番号	分野	タイトル	研究者	シーズ概要	特許番号等	掲載日
研究	2013-0130-09	ライフ サイエンス	腰痛を中心とした障害の病態解明と予防方法(運動療法)提唱	教授 スポーツ科学学術院 スポーツ科学部	腰部をはじめとした脊椎とその隣接部位(股関節・鼠径部・肩甲帯)の受傷メカニズムの解明、診断・治療・リハビリ・予防に関わる知見。 主な競技対象は水泳競技(競泳、水球、飛び込み、シンクロ等)。		2013/01/30
研究	2013-0130-08	ライフ サイエンス	スポーツ医学的見地を活か したスポーツ装具の評価	教授(当時) スポーツ科学学術院 スポーツ科学部	シネラジオグラフィーを用いた骨・関節の動態観察による解析 、スポーツ医学的見地を活かした評価 主な競技対象は、サッカー(ジュニア・女子)・柔道・バスケ ットボール・ラグビー・ゴルフなど		2013/01/30
研究	2013-0130-07	ライフ サイエンス	膝関節を中心とした外傷予 防とリハビリテーション	教授(当時) スポーツ科学学術院 スポーツ科学部	膝関節(靱帯、大腿屈筋など)外傷の受傷メカニズムの解明、 診断・治療・リハビリ・予防に関わる知見		2013/01/30
研究	2013-0130-06	ライフ サイエンス	ヒト声帯モデルに基づく音 声合成技術	教授(当時) スポーツ科学学術院 スポーツ科学部	発話において音声が生成されるメカニズムの力学的・音響的解析聴覚・触覚から発話系へのフィードバックの分析、感情的な音声・病的音声の声質生成機構の解明音声情報生成技術の開発、発話獲得メカニズムの分析		2013/01/30
研究	2013-0130-04	ライフ サイエンス	DNA損傷応答傷害と早老症	教授 人間科学学術院 人間科学部	早老症の原因遺伝子として同定されている、DNAの複製・修復・組み換えに関与する複数のタンパク質の機能解析を通じて、DNA障害性ストレスによるゲノムの恒常性維持機構の破たんと老化促進について研究を行っている。		2013/01/30
研究	2013-0130-03	ライフ サイエンス	アンチエイジング物質のス クリーニング技術	教授 人間科学学術院 人間科学部	カロリー制限による抗老化作用と同等の効果をもたらす物質を探索・評価するための、スクリーニング培養細胞およびトランスジェニックマウスの系を確立している。長寿関連転写因子結合配列(DFCR-RE; DwarFism and Calorie Restiriction-Response Element)をレポーター遺伝子(分泌型アルカリフォスファターゼ)の上流に組み込み、この配列に結合する転写因子の活性化を間接的に測定する。また、本抗老化作用の代謝経路で働くニューロペプチドYに着目した解析も行っている。		2013/01/30
研究	2012-0712-07	ライフ サイエンス	電界効果トランジスタセン サ	特任研究教授 (当時)	半導体微細加工技術を用いて作製したトランジスタ型センシン グデバイス。		2012/07/12
研究	2012-0319-01	ライフ サイエンス	教育利用を目指した片麻痺 歩行の擬似体験装具の開発	教授 理工学術院 創造理工学部	片麻痺者が歩行する際の主観的な経験、たとえば「動かそうと 思っても動かない」「(逆に)勝手に動いてしまう」などの運 動と知覚とのずれに着目し、これらの感覚を健常者も非侵襲且 つ安全に擬似体験できる手法を開発した。		2012/03/19
研究	2011-1031-01	ライフ サイエンス ものづくり 技術	認知神経リハビリのための バイオフィードバック型知 覚支援ロボットテクノロジ ー	教授 理工学術院 創造理工学部	片麻痺患者のリハビリを支援する知覚支援ロボットテクノロジー(RT)の開発ノウハウ及び臨床データの蓄積。麻痺足の接地状態を、健常側の腕や背中等に装着した圧力呈示ユニットで健常側に伝達する仕組みを案出。健常側を通じて感じ取った麻痺側の接地状態と、患者が抱いている間違った身体イメージとを比較させ、身体感覚のズレに患者自ら気づかせる。RTで主体性を引き出すこの新たな仕掛けにより、脳の可塑性も促進し、自律的かつ効率的なリハビリが可能となる。		2011/10/31
研究	2011-1028-01	ライフ サイエンス	肝内代謝制御機構とその破綻による疾患発症メカニズムの解明	教授 理工学術院	細胞内低酸素応答機構の中心分子である転写制御遺伝子Hypoxia inducible factor (HIF)-1についての知見を有する。肝実質細胞における低酸素応答の破綻がアルコール性および非アルコール性脂肪肝の発症や進展に係わっていることを見出した。特に、アルコール性脂肪肝発症メカニズムにHIF-1による脂肪酸代謝制御の破綻が係わっていることを明らかにしている。また、HIFアイソフォームのHIF-2の関与についても研究を展開している。		2011/10/28
研究	2011-1027-01	ライフ サイエンス	人工赤血球の製造法	客員上級研究員 (当時) 研究院(研究機関) 重点領域研究機構	酸素を結合するヘモグロビンを脂質膜で包んだ人工赤血球の製造方法。 (a)血液型が無い、(b)ウィルスなど感染源が排除されている、(c)室温で2年以上安定、(d)大量投与しても代謝系を経て分解排泄される、(e)血漿中に均一分散して、赤血球が到達できない末梢組織まで酸素を供給する、(f)出血性ショック蘇生液として、赤血球と同等の酸素運搬効果と安全性を有することなどが示されている。		2011/10/27
研究	2011-0930-01	ライフ サイエンス	コラーゲンを基盤とした創 薬	教授 理工学術院	・ コラーゲン様3重らせん構造を持つ超分子マテリアル ・ コラーゲン様3重らせんペプチドのライブラリー (約800種) ・ コラーゲン一生体高分子結合阻害化合物のスクリーニング手 法: (384wellプレートのハイスループットスクリーニング系 を確立)		2011/09/30
研究	2011-0915-04	ライフ サイエンス	サリドマイドの神経細胞に対する新たな薬理効果	理工学術院 大学院先進理工学研 究科	サリドマイドの鏡像異性体、誘導体、代謝産物が神経細胞においてそれぞれどのような作用機序で、薬理効果の違いをもたらすかについての分析。		2011/09/15
研究	2011-0915-03	ライフ サイエンス	微生物の新規分離培養法	教授 理工学術院	環境中の有用微生物に対する新規のハイスループットin situ 培養ツールおよび分離培養手法。土中や水中などに適用し、新 規の菌を一度に多数獲得することが可能である。中空糸膜を介 して外系との物質移動ができるため、自然環境下のまま分離培 養を行うことができる。(図参照)		2011/09/15
研究	2011-0915-02	ライフ サイエンス	慢性骨髄増殖性疾患の診断 方法 〜JAK2遺伝子変異の 定量解析方法〜	教授 理工学術院	JAK2遺伝子変異の定量的な解析手法を有している。蛍光プロ ーブを用いており、正確・迅速なcMPD診断が可能である。		2011/09/15
研究	2011-0915-01	ライフ サイエンス	細胞内分子動態解析	教授 理工学術院 先進理工学部	ランダムスキャン方式2光子励起顕微鏡を用いて、細胞内分子 の動態を測定できる。特に神経細胞のシナプス可塑性メカニズ ムに関わる、カルシウムイオン (Ca ² +) やリン酸化酵素、受容 体などのタンパク質を対象としている。		2011/09/15
研究	2011-0909-06	ライフ サイエンス ものづくり 技術	心臓弁の無細胞化	教授 理工学術院 大学院先進理工学研 究科 共同先端生命医科学 専攻	異種生体弁の耐用年数を延ばす手段のひとつとして、化学処理 をせずに組織無細胞化したブタ心臓弁を提供できる。独自に開 発したマイクロ波照射及び生体内環境の再現(拍動による界面 活性剤の流量・圧力制御)により、組織自体に傷を付けないた め高い強度のまま無細胞化した組織を得られる。さらに、無細 胞化したブタ心臓弁表面にヒト内皮細胞を増殖させる技術も持 つため、より拒絶反応の少ない移植を実現できる。		2011/09/09

種別	シーズ番号	分野	タイトル	研究者	シーズ概要	特許番号等	掲載日
研究	2011-0909-05	ライフ サイエンス ものづくり 技術	ステントの耐久性試験装置 と評価方法	教授 理工学術院 大学院先進理工学研 究科 共同先端生命医科学 專攻	ステントを挿入する部位に極めて近いストレス環境を実現できる試験装置を開発した。ねじりと伸長変形の複合負荷を加えられ、且つ、血管モデルの力学的特性も考慮できるシステムを構築したことにより、設計の異なる様々なステントの複合的変形追従性を統一基準で計測できる。		2011/09/09
研究	2011-0906-06	ライフ サイエンス	新規抗リーシュマニア剤	教授 理工学術院	抗リーシュマニア活性を有する新規化合物 「クリスタキセニ シンA」		2011/09/06
研究	2011-0906-05	ライフ サイエンス	医薬品素材としての海洋天 然化合物 ケミカルエピジ ェネティクス研究のツール として	教授 理工学術院	海洋生物サンプル:海綿・腔腸・原索・棘皮・軟体動物など15 00種類以上多様な採取地域:日本(南西諸島、九州沿岸、伊豆諸島、佐渡、三陸海岸、千島列島)、ミクロネシア、ヴェトナム海洋天然化合物:新規および既知の海洋天然化合物ライブラリー海洋無脊椎動物抽出物ライブラリーを対象とし、抗菌・抗カビ、各種がん細胞に対する増殖抑制、血管新生および各種酵素に対する阻害活性、細胞毒性、多剤耐性菌等のスクリーニングを行っている。これまでに顕著な生物活性を示す新規化合物を100種類以上見出している。		2011/09/06
研究	2011-0517-04	ライフ サイエンス	非侵襲生体磁気計測を利用 したマウスモデルとの比較 によるヒトの脳疾患診断へ の応用	教授(当時) 理工学術院 先進理工学部	高感度磁気センサーであるSQUID(超電導量子干渉素子)は、 頭蓋骨に阻害されることなく、神経伝達(脳活動)により生じ る微弱な磁場(脳磁図)を計測できる。 例えば、MRIで確認された脳腫瘍の周辺状態をSQUIDで計測する ことによって、より正確に病巣位置や病態を把握することがで きる。術前の執刀医向けの情報としてのみならず、術後の副作 用についてのインフォームドコンセントにも活用可能である。		2011/05/17
研究	2011-0517-03	ライフ サイエンス	非侵襲生体磁気計測を利用 したマウスモデルとの比較 によるヒトの心疾患の診断 への応用	教授(当時) 理工学術院 先進理工学部	生命科学的手法とSQUID※による測定を組み合わせることで、心疾患の早期発見に資する知見を提供できる。心疾患、たとえば心筋梗塞モデルマウス(ノックアウトマウス)を作り、その誕生から心筋梗塞時に心磁図にどのような変化があるかを知ることができる。また、当該モデルマウスの解剖結果と照らし合わせることで、疾患状態と心磁図との相関図を作ることができる。 ※SQUID(超電導量子干渉素子):高感度磁気センサー。神経伝達(脳活動)や心筋の動きにより生じる微弱な磁場(脳磁図・心磁図)を計測できる。		2011/05/17
研究	2011-0517-02	ライフ サイエンス	非侵襲生体磁気計測による マウスモデルの刺激(ニオ イ)脳応答の可視化	教授(当時) 理工学術院 先進理工学部	高感度磁気センサーであるSQUID(超電導量子干渉素子)では 神経活動に伴う微小な磁界を測定でき(脳磁図)、頭蓋骨の影響も受けないため神経活動の活発な場所を逐次正確に追うこと ができる。 例えば、ニオイ刺激受容因子欠損マウスモデル(ノックアウト マウス)と正常なマウスのニオイ刺激に対する脳磁図を比較す ることで、ニオイという化学刺激に対する脳神経活動を正確に 可視化することができる。		2011/05/17
研究	2011-0517-01	ライフ サイエンス	非侵襲計測・解析による胎 教効果の検証	教授(当時) 理工学術院 先進理工学部	高感度磁気センサーであるSQUID (超電導量子干渉素子)を用いて妊婦の心磁図を計測・解析すると、母親と胎児との相関性として胎児のリラックス度あるいはストレス度を知ることができる。これまで科学的な胎教効果は解明されていないため、どのような胎教行動が良いのかという指針づくりも可能である。		2011/05/17
研究	2011-0427-03	ライフ サイエンス	ペプチドからヘキサペプチ ドまでを自由に合成する手 法	教授 理工学術院 先進理工学部 応用化学科	例えば、アミノ酸Aとアミノ酸Bを合成する際に、生体触媒(酵素)を用いた手法では、ある特定の構造のみを合成することができる(例えばAA、AB、BA、BBとの組み合わせが考えられる場合、ABのみを選択的に合成できる)。同様に、ペプチドも部位特異的に一つの構造を得ることができる。		2011/04/27
研究	2011-0427-02	ライフ サイエンス	2-ナフトエ酸の酵素水酸化 による白色発光	教授 理工学術院 先進理工学部 応用化学科	2-ナフトエ酸にシトクロムP450 (酵素) を利用して水酸基を導入することで、白色発光する化合物をワンステップで簡単に合成することができる。 白色の他に、青色発光する化合物も合成できており、様々な発光色が得られる可能性がある。		2011/04/27
研究	2011-0427-01	ライフ サイエンス	高収率なヒドロキシアスパ ラギン酸の合成と抗腫瘍剤 への応用	教授 理工学術院 先進理工学部 応用化学科	本シーズでは、酵素を使った生体反応により、少ない工数でアスパラギン酸に位置特異的に水酸基を導入してヒドロキシアスパラギン酸をほぼ収率100%で合成することができる。		2011/04/27
特許	2965	情報通信	半導体装置	教授 理工学術院 大学院情報生産シス テム研究科			2025/10/20
特許	2919	情報通信	信号伝送装置及び信号伝送 基板	特任研究教授 (当時) 理工学術院 大学院国際情報通信 研究科			2025/07/07
特許	2864	情報通信	量子計算システム及び量子 計算方法	教授 理工学術院 基幹理工学部			2025/03/04
特許	2895	情報通信	液体センサ	教授 理工学術院 先進理工学部			2025/03/03
特許	2834	情報通信	ニューラルネットワークの トレーニング方法、トレー ニングアーキテクチャ及び プログラム	教授 理工学術院 基幹理工学部 情報理工学科			2025/02/04
特許	2827	情報通信	量子ビット素子および量子 ビット素子の製造方法	教授 理工学術院 先進理工学部			2025/01/07
					_		

種別	シーズ番号	分野	タイトル	研究者	シーズ概要	特許番号等	掲載日
特許	2812	情報通信	光信号受信器及び光信号受 信方法	教授 理工学術院 基幹理工学部			2024/11/06
特許	2769	情報通信	光学素子および空中映像投 影装置	教授 理工学術院 基幹理工学部			2024/07/29
特許	2230	情報通信	音声対話システムにおける 発話タイミング制御	教授 理工学術院 基幹理工学部 情報理工学科	システム発話タイミング検出手段は、ユーザの発話権維持又は 譲渡/放棄かをパターン認識処理により逐次推定し、次発話準 備手段は、システム発話タイミング検出手段と非同期、かつ開 始タイミング検出前に、システムの次発話の内容データを準備 する。そして、システム発話の開始タイミングの検出後に、次 発話準備手段により準備された次発話を用いて、遅れなくシス テム発話を再生する対話システムである。	特許第727421 0号	2021/09/06
特許	2212	情報通信	3D高精細CG画像の高速レン ダリング(煙、炎等の反射 を高速描画)	教授 理工学術院 先進理工学部	非均一関与媒質が物体の表面に反射して見える映り込みを計算するレンダリング方法であり◆ 煙や炎を含む三次元領域をスライス状の面光源の重なりと見なす ◆ 各スライスが照らす明るさは解析的かつ瞬時に計算可能◆ 媒質を伝わる光の間接照明効果を効率的かつリアルに表現可能	特許第730286	2021/04/09
特許	2237	情報通信	電気機器の動作監視、異常 検出方法	教授 理工学術院 基幹理工学部	動作部と制御部を有する電気機器(フライホイール等)の制御状態監視方式であり、状態データ (制御信号等)を用いて、動作部が所定の目的状態([例] X,100回転での運転 / Y:70回転での運転)であることを示す特徴データ(尤度等)をパターン認識により得て抽出する状態推定器と、その特徴データを用いて、①クラス識別、②外れ値検知、③新規性検知のいずれかの処理を実行し、動作制御の異常の有無や程度を示すスコアを出力する異常検知器とを設け、動作状態推定と異常検知とを二段階で行う構成とした。"	特許第747389 0号	2021/03/24
特許	2357	情報通信	レーザービームスキャナ	教授 理工学術院 先進理工学部		特許第753009 9号	2021/03/15
特許	2305	情報通信	異物探知システム	教授 理工学術院 基幹理工学部		特許第746159 4号	2020/04/14
特許	2225	情報通信	複数の視野外障害物を検知 するシステム	教授 理工学術院 基幹理工学部		特許第734863 4号	2019/11/08
研究	2018-1026-01	情報通信 フロンティア	次世代情報処理技術「量子 アニーリング」を用いたデ ータ駆動型社会イノベーシ ョン	客員上級研究員 研究院(研究機関)	◆ 量子アニーリングを用いたクラスタ分析(データ分類)のアルゴリズム提案◆ 各種組合せ最適化問題への量子アニーリング適用アルゴリズム提案		2018/10/26
特許	2060	情報通信	検出方法及び検出装置	教授 理工学術院 基幹理工学部		特許第713643 9号	2018/07/13
特許	334JP	情報通信	ハードウェアトロイの検出 方法、プログラム、および 装置	教授 理工学術院 基幹理工学部		第6566576号	2018/05/17
特許	1009	情報通信	項目選択方法および装置	教授 理工学術院 基幹理工学部 表現工学科	3D映像は映画、携帯電話、ゲーム等に取り入れられ、多くのコンテンツや機器類が市場へ導入されている。この発明は、視聴者の眼の焦点深度に着目し3D映像を調整・再生するための技術であり、視聴者が違和感・疲労感を感じずに3D映像を鑑賞することが可能となる。	第5505881号	2013/12/25
特許	139JP	情報通信	計測装置	教授(当時) 理工学術院 理工学術院総合研究 所	本発明は、道路周辺の地物の位置を計測する装置であり、MM S(モービルマッピングシステム)を用いて白線以外の道路上 、道路脇の地物の位置が計測可能となる。特に、従来のMMS のみでは計測が困難であったキロポストのような幅細の地物や ガラスのような鏡面反射性の地物についても高精度に位置計測 が可能になる。	第4344869号	2013/12/25
特許	94JP	情報通信	文章評価装置及び文章評価 プログラム	教授 理工学術院 創造理工学部 英語教育センター	英作文の解答文の評価を、実情に沿って客観的にコンピュータ 化して行う学習システム。英作文の正解文と解答文の間で、同 一位置における単語の同一性の判断のみならず、他の独自の要 素により、多様な評価を行う。	第4165898号	2013/12/25
研究	2013-0130-05	情報通信	スポーツ映像のデータベー ス化、2次映像の自動生成 、動作・戦略分析	教授(当時) スポーツ科学学術院 スポーツ科学部	スポーツ映像(主にサッカー)をもとにした、コンピュータ処理可能なスポーツ映像データベース競技映像・選手やボールの動きなどの自動認識技術、手や足の動作に対するキネマティクス解析、動作予測のための統計的手法の開発、剛体リンクモデルや骨格筋モデルの構築		2013/01/30
研究	2013-0130-02	情報通信	在室・行き先情報提示版(DoorMSNGR)(独自開発)	教授(当時) 人間科学学術院 人間科学部	●研究フェーズ:応用開発研究、実用化・製品化研究 出先(会議,国内外出張先など)からスマートフォンを用いて容易に行き先表示・戻り日時を変更することができる情報提示板。		2013/01/30
研究	2013-0130-01	情報通信	聴覚障がい学生の講義への 参加感を高めるノートテイ ク支援システム	教授(当時) 人間科学学術院 人間科学部	●研究フェーズ:応用開発研究、実用化・製品化研究 支援技術 には、スウェーデンで開発されたアノトペンと呼ばれるデジタ ルペン技術と、大日本印刷株式会社が開発したプレゼンテーションシステム (OpenSTAGE®) が使われている。 紹介記事:http://www.waseda.jp/jp/news11/110804_ant.html		2013/01/30
研究	2011-0928-01	情報通信	高信頼ソフトウェアシステムの高効率な開発技術	教授 理工学術院 基幹理工学部	トラブルを未然に防ぐためにはソフトウェアの信頼性の向上が必要不可欠である。ソフトウェアの開発は基本設計から実装まで複数の段階を経ることなり、徐々に信頼性が失われて行く。これに対して段階ごとの処理過程によって、過去の開発事例を参考にパターン化・抽象化を行い形式検証を行うことで、段階ごとの信頼性の向上を図る。		2011/09/28

種別	シーズ番号	分野	タイトル	研究者	シーズ概要	特許番号等	掲載日
研究	2011-0922-02	情報通信	動画上の注目度を検出・可 視化し配信する方法及び装 置	客員主任研究員 (当時) 理工学術院 理工学術院総合研究 所	本発明は、閲覧者が動画中の「どこの部位を見る傾向にあるか」、つまり「注目度」を定量する方法(眼球運動計測装置は既存)と、その時系列統計的確率分布情報を動画上に可視化させ逐次更新・配信する手法及び装置・システムである。		2011/09/22
研究	2011-0921-03	情報通信	マルチメディアアプリケー ション(MPEG2エンコード ・MPEG2デコード)のOSCAR コンパイラによる並列化	教授 理工学術院 基幹理工学部	MPEG2エンコード処理ではマクロブックレベルでの並列化を利用し、MPEG2デコード処理ではスライスレベルでの並列化とスライス処理内部でのマクロブックレベル並列化を行うことにより、速度向上だけでなく、低消費電力化が可能となる。		2011/09/21
研究	2011-0921-02	情報通信	メニーコア性能評価用シミ ュレーション高速化手法	教授 理工学術院 基幹理工学部	メニーコアにおいて、並列化プログラムを逐次実行し、サンプリング対象ループから、統計的手法を用いて、期待する誤差の範囲内で全実行サイクル数を推定可能なインタレーション数を特定する。そのインタレーション数だけ詳細シミュレーションを行うことにより、少ないシミュレーション時間で高精度の実行サイクル数の推定が可能となる。		2011/09/21
研究	2011-0913-02	情報通信	手書きノートからの効果的 なサムネイル作成	教授 理工学術院 基幹理工学部 情報理工学科	一覧表示する際に、概要から容易に内容を把握できるサムネイル表示は有効であるが、手書きデータの場合は文字が小さくなりすぎることから、逆に時間がかかる結果となる。そこで下線や囲い込みといった強調表現を自動認識することで拡大表示し、図表と組み合わせることで重部分のみを抽出したスニペットによる圧縮サムネイルを自動生成する。この結果、サムネイルの概要を容易に理解でき、検索効率を向上させることができる。		2011/09/13
研究	2011-0913-01	情報通信	手書き数式入力システムMa thBox	教授 理工学術院 基幹理工学部 情報理工学科	数式記号の認識は、従来の文字認識技術で対応可能であるが、 数式構造の認識は困難であり、これが数式の認識精度の低下の 原因となっていた。これに対して、数式構造のパターンを予測 し、ユーザーが数式入力を行うスペース (= Math Box) をあら かじめ表示することで、数式構造の認識を容易にし、認識精度 を向上させる。さらに、指定されたスペースに対して入力可能 性のある数式記号を例示することにより、誤認識時の修正を簡 単にすることに成功している。		2011/09/13
研究	2011-0908-02	情報通信	ICカードの脆弱性の解明と その対策手法の構築	教授 理工学術院 基幹理工学部	スキャンパス設計はLSI内部をランダムに張り巡らされている ため本来であれば、設計者のみが知り得ることのできる秘匿情 報であった。 それに対して、スキャンチェインを構成するFF(フリップフロップ)が、ランダムに接続されていてもその相対位置は変化せず、出力されるデータ順序が一定であるという法則性を利用することで、ICカードに搭載さているLSIの暗号処理を解読できることを実証した。その結果、解読不可能であるとされている代表的な暗号化規格であるAES暗号、RSA暗号、楕円曲線暗号(ECC暗号)の解読に成功している。		2011/09/08
研究	2011-0908-01	情報通信	極低エネルギー化を実現す る統合化システムLSI設計 技術	教授 理工学術院 基幹理工学部	LSIを構成する3つの要素である機能モジュール・記憶要素・制御要素に対して、「強結合」ならびに「弱結合」という新規概念による抽象化モデルを構築することで、上位工程から下位工程までを一貫した緩やかなルールを導入する。さらに、従来の階層的な設計工程にとらわれず、導入したルールに従って設計工程を互いに協調させることで、「低エネルギー指向上位下位統合化LSI合成アルゴリズム」を達成したLSI設計技術を確立することができる。		2011/09/08
研究	2025-1107-01	環境	トリプルハイブリッドによる圧縮空気駆動型モビリティの実現	教授 理工学術院 大学院環境・エネル ギー研究科			2025/11/07
特許	2977	環境	リチウム回収方法及びリチ ウム吸着剤生成方法	教授 理工学術院 創造理工学部			2025/10/20
特許	2672	環境	パルス電流発生装置及びパ ルス電流発生方法	教授 理工学術院 創造理工学部	積層体を効率的に分離するためのパルス電流発生装置に関する 発明。薄膜にパルス電流を印加して加熱し、接着剤が融点に達 するタイミングで電流を遮断することで、薄膜と結着層を効率 よく分離し、不純物混入を防ぎつつ資源回収を高効率化する。	特開2025-120 004	2025/10/20
特許	2807	環境	積層体の解体方法	教授 理工学術院 創造理工学部			2024/11/06
特許	2764	環境	分離方法及びリチウムイオ ン二次電池用電極活物質の リサイクル方法	教授 理工学術院 創造理工学部			2024/07/05
特許	2663	環境	情報処理装置、探査装置お よびプログラム	教授 理工学術院 創造理工学部			2023/07/14
特許	2347	環境	細線を用いた電気パルス解体方法 (手作業解体からの解放に向けて)	教授 理工学術院 創造理工学部	少なくとも2個の部材が接合されてなる対象物の表面の一部分 に導電性材料を接触させ、大気中で前記導電性材料に高電圧パ ルスを印加して衝撃波を発生させて、前記対象物の接合部位に 衝撃波を作用させることで前記対象物の部材同士を剥離させる 、対象物の解体方法。	特許第757266 7号	2022/03/01
特許	2262	環境	排気浄化システムおよび排 気浄化方法	教授 理工学術院 先進理工学部		特許第723157 8号	2021/11/10
特許	2261	環境	排気浄化システム	教授 理工学術院 先進理工学部		特許第739309 8号	2021/10/11
特許	2416	環境	空気中の二酸化炭素を除去 する方法	理工学術院 理工学術院総合研究 所		第7699796号	2021/06/23

種別	シーズ番号	分野	タイトル	研究者	シーズ概要	特許番号等	掲載日
特許	2205	環境	二酸化炭素の固定化方法	教授 理工学術院 創造理工学部		特許第731300 2号	2020/11/09
研究	2018-1026-07	環境 ナノ・材料	圧電薄膜フィルムを用いた 安価な振動発電素子	研究院(研究機関)	◆ 圧電POLYMER溶液のスピンコートによる薄膜化 ◆ インクジェットプリンタを用いた電極形成◆ 分極処理を不要に		2018/10/26
特許	1334	環境 社会基盤	高感度コンプトンカメラ	教授 理工学術院 先進理工学部 応用物理学科	高感度で容易に携帯可能なガンマ線撮影用のコンプトンカメラ です。	特許第599151 9号	2014/06/19
特許	1102	環境 社会基盤	アルミニウム合金選別システム	教授(当時) 理工学術院 創造理工学部	合金系別にアルミニウム合金を判別し回収出来るシステムです。アルミニウムあるいはアルミニウム合金は、省資源化と低コスト化の観点からリサイクルされています。迅速かつ大量にアルミニウムおよびアルミニウム合金を他の金属から選別して回収する中で、アルミニウム合金は添加される金属ごとに合金種が異なり、その用途も異なるために合金系別にアルミニウム合金の判別そして回収が必要です。	第5562193号	2014/06/18
特許	149JP	環境	重金属不溶化剤	山崎 淳司 教授 理工学術院 創造理工学部 環境資源工学科	天然鉱物由来の新しい重金属溶出抑制剤、還元機能を有する為 、6価クロム、砒素、セレンなどの溶出抑制にも利用できる。	第5697334号	2014/06/10
研究	2012-1029-03	環境	無機材料を利用した水・土 壌の浄化材料の開発	教授 理工学術院 先進理工学部	有書金属全種類に対応した、経済性の高い汚染土壌の不溶化技 術、水処理技術を有する		2012/10/29
研究	2012-1029-02	環境	無機分離膜に関する研究	教授 理工学術院 先進理工学部	■ゼオライト膜による分離プロセスの開発膜分離は、深冷分離など相の変化を伴う従来のプロセスに比べ、省エネルギーが可能な分離プロセスである。図1に示すように、ゼオライトは分子の大きさや吸着力の差を利用した分離機能を発揮することができる。我々は、世界に先駆けて分子レベルで分離を達成する無機膜を開発し、継続して研究を行っている。多孔質支持体上にゼオライトを薄膜化する合理的手法を開発し、また、無機多孔質膜の構造、分離性能等を評価するキャラクタリゼーション手法を独自に開発し、一部製品化も試みている。		2012/10/29
研究	2012-1001-08	環境	室内空間におけるSVOC(準 揮発性有機化合物) に関す る研究	教授 理工学術院 創造理工学部	本研究室ではハウスダストの捕集のため、新たな捕集ノズルの開発を行いハウスダスト中のSVOC濃度に関する分析を行っている。一般住宅のみならず自然素材住宅や幼稚園など様々な空間においても測定を行い、室内のSVOC汚染レベルを測定している。また、室内の仕上げ材からのSVOC放散速度も測定し、建材からのSVOC放散速度がハウスダスト中のSVOC濃度にどのくらい影響を与えているのかなど、室内のSVOC汚染に関する対策を作るために様々な研究を実施している。		2012/10/01
研究	2012-1001-07	環境	快適な駅空間の温熱環境に 関する研究	教授 理工学術院 創造理工学部	2004~2006年に行われた実測調査では、都内に位置する非空調の4駅において環境測定と約4000人に対してアンケート調査を行合った。その結果、夏季において滞在者の20%以上が受容できないと申告した受容限界はSET*(標準有効温度)32℃であり、多くの時間帯で限界値を超えていることが明らかになった。この限界値は室内の受容上限よりも高い。また、暑い駅の主な要因として、気流が微弱であること、日射の影響が大きいことがあげられており、これらの要因に対して対策案の検討を進めている。2011年度の研究では、改札内に大規模な商業施設及び空調が導入された駅において、実測調査が行われた。その結果、夏季における受容及び快適の上限は非空調駅と同等であったが、快適の下限は空調が導入された駅の方が高いことが示された。また、外気の流入が構内の温熱環境制御を阻害する可能性が示唆され、要因の詳細な分析と対策案を検討している。		2012/10/01
研究	2012-1001-06	環境	自動車室内の快適な温熱環 境に関する研究	教授 理工学術院 創造理工学部	本研究では、非定常・不均一な温度環境下における快適性予測を目的とし、車室内乗員の詳細な生理量予測、快適性予測を試みている。夏季炎天下条件、冬季暖房条件に実車両を用いた被験者実験を実施し、予測精度の検証データを得ている。それらの結果を基に、体温調節数値モデルである人体熱モデルJOSの開発・改良に加えて、人体熱モデルJOSと数値流体解析CFD・放射解析との連成計算を行っている。		2012/10/01
研究	2012-1001-05	環境	ZEB化省エネビルにおける 快適性・知的生産性評価	教授 理工学術院 創造理工学部	本研究ではZEB (net-Zero Energy Building) の実現に向けて 改修が行われたオフィスビルにおいて、改修前後の物理環境、 執務者満足度の変化を調査することにより、ZEB化改修の有効 性を検証している。		2012/10/01

種別	シーズ番号	分野	タイトル	研究者	シーズ概要	特許番号等	掲載日
研究	2012-1001-04	環境	オフィスの生産性・経済性 と省エネルギーの両立シナ リオ	教授 理工学術院 創造理工学部	本研究では、実オフィスにおける執務空間に要求される環境要素と知的活動の相互関係の整理と、実オフィスにおける執務空間が執務者に及ぼす影響の把握を目的とし、室内環境調査、執務者行動調査、およびアンケート調査を実施した。さらに、知的活動、執務者行動、執務空間の相互関係を分析し、知的生産性・省エネルギー性の観点から執務空間に要求される環境要素の検討を行った。 [研究成果] (1) 知的活動ごとに重要な執務者行動が異なり、知識創造には、拡散的思考やインフォーマルラション、リラックスなどの多様な執務者行動が重要であるという申告結果が得られた(2) 対象建物では、ミーティングスペースだけでなく、自席周りでも活発に対する満足度には、物理環境に加え、滞在時間および執務者行動的容による環境への期待度が影響している可能性が示唆された。(4) 対象建物では、温冷感」、「出社時の暑さ」、「残業時の空調停止」が、光環境には「温冷感」、「中国のよどり、「認からの眩しさ」が、空質環境には「空間のよどみ」、「ほこりっぽざ」が、空間環境には「空間の多様性」、「アクセスのよさ」、「空間の大きさ」が加出された。		2012/10/01
研究	2012-1001-03	環境	エネルギー予測と環境対策 シナリオ作成	教授 理工学術院 創造理工学部	生産性と快適性を損なわずに高いエネルギー削減効果をもたらす持続可能な節電手法を探ることを目的として、夏季節電環境下の複数のオフィスピルを対象とした実態調査を行った。 [研究成果] 温度を上げるよりも照度を下げる方が、不満足者率が小さく知的生産性を維持できること、また電力削減効果が大きいことが明らかにされた 節電を行う際には、照明の節電を優先的に行い、タスクライトの設置やフロアを占有する執務者の属性に応じた適切な節電手法を選択することで、執務者の快にや生産性を損なうことなく効果的に消費電力量を削減できると考えられる。		2012/10/01
研究	2012-1001-01	環境	スポット空調・パーソナル 空調による熱的快適性実現	教授 理工学術院 創造理工学部	当該研究では、気流の個別選択性を持つパーソナル空調による 快適性および知的生産性を評価することを目的として、同空調 システムが導入され、実際に運用されているオフィスにおいて 、風量選択可否を変えた条件を設定し、実測調査を行った。そ の結果、パーソナル空調の風量を選択可能とした条件において 、温熱満足度が有意に高い値を示し、快適性が向上し、気流の 個別選択性をもつスポット空調が執務者の快適性を向上させる 可能性が示された。		2012/10/01
研究	2012-0629-01	環境	津波・高潮に強い新しい海 岸防護構造物の開発	教授(当時) 理工学術院 創造理工学部	全国で更改期を迎える海岸防災構造物の作り換えに合わせて、 新たな構造形式に変えていく必要がある。被災機構の解明、沿 岸環境への影響を考慮して、新しい構造形式を提案する。		2012/06/29
研究	2012-0627-01	環境	製品価値創造における革新的課題解決法の提案	無期非常勤講師 理工学術院 大学院創造理工学研 究科	価値ある新製品開発企画・新事業企画のための手法 (TRIZ:発明的問題解決理論) の提案。既存製品のクオリティの継続的な向上(改善活動)をめざすのではなく、5~10年先を見据えて社会変化を捉えた付加価値向上型の非連続(ラジカル)イノベーションを目指した新製品開発の方法論を提供する。		2012/06/27
研究	2012-0625-01	環境	海水・海砂を用いる自己充 填型コンクリート	教授(当時) 理工学術院 創造理工学部	練り混ぜ水に海水、細骨材に海砂、さらに優れた流動性と適度 な粘性を付与できる新規混和剤(塩分含有用増粘剤一液型高性 能AE減水剤)を利用した自己充填型コンクリートを開発した。		2012/06/25
研究	2012-0619-04	環境	良質の地域土壌を用いた省 エネ低コスト型の浄化材料 開発	教授(当時) 理工学術院 創造理工学部	環境浄化資材としての火山灰土壌の活用。		2012/06/19
研究	2012-0619-03	環境	廃棄物最終処分場を対象と した、都市鉱山としての評価と探査・回収技術	教授(当時) 理工学術院 創造理工学部	最終処分場の埋立物に含まれる金属の種類・量およびその鉱物 的な賦存形態の解明と、回収有望な金属類を特定する技術。電 気探査を利用して、金属類が濃集するゾーンの推定が可能であ る。		2012/06/19
研究	2012-0619-02	環境	排水中の成分除去・回収シ ステム	教授(当時) 理工学術院 先進理工学部	排水の持つ低濃度、多成分という特性を考え、目的成分を選択 的に、かつ安定な形態で除去・回収しうるシステムとして晶析 現象を利用する。		2012/06/19
研究	2012-0619-01	環境	潜熱蓄熱利用システム	教授(当時) 理工学術院 先進理工学部	液体と固体との間の相転移に伴い移動する熱エネルギー (特に 、温熱)を利用する潜熱蓄熱利用システム。		2012/06/19
研究	2012-0614-01	環境	環境配慮商品・廃棄物ビジ ネスマネジメント	教授 商学学術院 大学院商学研究科	環境対応商品の市場性分析やプロダクト・マネジメント、廃棄 物処理ビジネス等新規事業を科学的に開発するための方法論を 提案する。		2012/06/14
研究	2012-0321-01	環境	ナノ流体を作動液とするマ イクロヒートパイプ	教授(当時) 理工学術院 創造理工学部	銀のナノ粒子を含む作動液をマイクロヒートパイプに適用する ことで伝熱性能が向上する。		2012/03/21
研究	2012-0315-01	環境	森林の地球温暖化軽減機能の評価	教授(当時) 人間科学学術院 人間科学部	途上国で起きている森林の地球温暖化軽減機能の評価を行う。 森林減少や森林劣化の原因、地球温暖化の影響を調査し、低炭 素社会を目指すための対策についての分析を行う。		2012/03/15

種別	シーズ番号	分野	タイトル	研究者	シーズ概要	特許番号等	掲載日
研究	2012-0313-01	環境	アジア諸国を中心とした環境影響・政策評価	教授 国際学術院 大学院アジア太平洋 研究科	開発途上国が環境を守りながらも持続可能な社会を築いていけるよう、あらゆる観点から状況を把握し解決を導き出すことが必要不可欠であるが、その中でも地域特性を活かした方策を提案する。例えば過去に行ったインドネシアの河川水質汚濁対策の事例では、分権型環境管理システムの問題点や有効な環境政策あり方に関する調査管理システムの改善に資するアクション・行成に向けた議論を行い、アクションへ向けた提言を行が、アクションへに向けた提言を行い、アクションへを調体は下記2つの組織形成にて行い、その地域の様々な意見を取り入れる方法を用いた。各課題に対して適した会議体を選択し、運営することができる。 ・ラウンド・テーブル(RT)・・・政府・企業・市民という社会的アクターの参加型調査と社会的環境管理能力の形成を目的として、州政府、市政府、企業・市民という社会の知識形成を行い、様々な意見を取り入れた。、ステアリング・コミッティ(SC)・・・地方の取り組みを支援する国の制度・政策のあり方を中央政府、商工会議所、インドネシア大学などで構成にて検討を行った。		2012/03/13
研究	2012-0312-03	環境	天然林・人工林の炭素固定 量評価	教授(当時) 人間科学学術院 人間科学部	これまで日本国内の森林や海外の熱帯雨林において、炭素固定量の推計を行ってきた実績があり、熱帯地域における植林地の簡易バイオマス推定の方法論を確立している。これらの知見を活かし、森林の炭素固定量を推計することが可能である。		2012/03/12
研究	2012-0312-01	環境	統合化指標ELP(Environme ntal Load Point)による環 境影響評価手法の開発	教授(当時) 理工学術院 大学院環境・エネル ギー研究科	ELP (Environmental Load Point)とは、本シーズにおいて開発を行った、LCA (Life Cycle Assessment) における統合化指標の1つである。 「エネルギー枯渇」「地球温暖化」「オゾン層破壊」「酸性雨」「資源の消費」「大気汚染」「水質温泉」「廃棄物処理問題」「生態系への影響」の9つの環境影響項目に分類を行い、パネル方法によるアンケート調査によりカテゴリー重要度を定めた。このカテゴリー重要度を係数として、異なる分野における環境負荷を同一単位で評価を行える統合化指標を開発した。		2012/03/12
研究	2012-0301-01	環境	サステイナブル建築の設計 プロセスマネジメント技術	教授 理工学術院 創造理工学部	建築設計プロセスをDSM (Design Structure Matrix) により分析し、最適化した設計プロセスを提示することで、現状の設計プロセスを改善することができる。また、新技術を建築物に導入する際の検討事項を整理でき、手戻りなどの不効率な設計プロセスを排除することができる。		2012/03/01
研究	2012-0217-01	環境	環境政策の行政過程に関す る社会科学的研究	教授(当時) 理工学術院 大学院環境・エネル ギー研究科	政策-法令-環境科学-環境技術-世論-マスコミ報道-利害関係を一体的に追跡しながら、以下のメソッドで実証的に分析を行っている。実施事例として、京都議定書採択以降のわが国の地球温暖化政策、資源循環政策の行政過程に関するテーマでの研究実績があり、国内政策の情報提供・現地調査を行うことができる。1.環境政策や環境取組みに対する疑問を発見っことができる。1.環境政策や環境取組みに対する疑問を発見っこ。2.研究課題を取り巻く社会・経済構造を読み取る。(現場にアクセスし基礎情報を収集。問題の構造を確認する。そのために法令、基礎科学・技術の特性を理解し、政治・行政、社会・経済の実相を客観的に分析・考察する)3.研究のフレーミングとトリミングを行う。(研究の焦点を絞る。アクセスの方向と研究範囲の枠取りを設定する)4.研究の手段を手に入れ、方法論を固める。(情報収集方法、分析・解析手法(データ処理等)を固め、マスターする)		2012/02/17
研究	2011-0920-03	環境	廃棄物からの有価物リサイ クリングプロセスの構築	教授 理工学術院 創造理工学部	前処理としての各種粉砕の後、比重、電気的特性、磁気的特性 、ぬれ性、形状、色彩、X線特性等、対象に沿った物理的およ び物理化学的特性を利用した分離法を組み合わせることによっ て、環境低負荷型の有価物リサイクリングプロセスを提案する ことができる。		2011/09/20
研究	2011-0920-02	環境	粉体シミュレーションによ る粉砕・物理選別技術の最 適化	教授 理工学術院 創造理工学部	粉体シミュレーションの1種である離散要素法(Discrete Elem ent Method, DEM)を用い、装置内の各粒子の位置や速度、および粒子間や粒子・壁面間の衝突エネルギーを詳細に把握することができる。		2011/09/20
研究	2011-0920-01	環境	環境浄化プロセスの高度化	教授 理工学術院 創造理工学部	XAFSを含む詳細な固体分析技術、表面錯体モデルや反応速度論を組み込んだ地球化学シミュレーション等によって、各汚染状態に応じた最適処理プロセスの構築および条件の選定が可能である。最適プロセスの提案には、特殊粉砕や選別技術による前処理の追加、操作手順の改良、および金属回収による薬剤量削減および汚泥低減等を含む。		2011/09/20
研究	2011-0914-03	環境	未利用木質バイオマスから のバイオオイル製造および 利活用ネットワーク	教授 理工学術院 大学院環境・エネル ギー研究科	急速熱分解による木質バイオマスからのバイオオイル製造技術やガス化とバイオオイル化を組み合わせたマルチなエネルギー供給に対応した知見を保有している(プラントメーカーとの共同研究により実用段階に達している)。その他、バイオオイルの性状に対応した流通・保管、燃焼性等に関する知見を有する。さらに、林業との連携した原料供給システムの在り方も含めた利活用ネットワークの構築に関する取り組みも産学官連携体制で実施している。		2011/09/14
研究	2011-0914-02	環境	家庭における環境配慮行動 支援システムおよびプログ ラム	教授 理工学術院 大学院環境・エネル ギー研究科	照明や空調等の自動制御を基本とした従来型のHEMS、BEMSとは 異なり、人(入居者、従業員等)のライフスタイルやワークス タイルに着眼した環境配慮型行動支援システムおよびプログラ ムである。人の属性(年齢、性別等)や実行容易度に応じた情 報提供や取得した計測データの効果的な「見せる化」を可能と するアルゴリズムを保有している。スマートメータ等との連携 や既存製品へ組み込むことを可能としている。		2011/09/14
研究	2011-0914-01	環境	超軽量小型モビリティULV (Ultra Lightweight Vehic le)	教授 理工学術院 大学院環境・エネル ギー研究科	「自転車以上自動車未満」をコンセプトとした超軽量小型モビリティULVを開発している。ミニカーのカテゴリーでナンバーを取得しており公道走行が可能である。現在は、社会的な要請からEVとしての開発を深化させているが、圧縮空気やガソリン、水素等をエネルギー源とした想定したMulti-PM (Prime Mover)の設計コンセプトを導入している。また、地場の中小企業と連携した「地産地活型」のビジネスモデルを訴求している点も特徴である。		2011/09/14

種別	シーズ番号	分野	タイトル	研究者	シーズ概要	特許番号等	掲載日
研究	2011-0909-02	環境 ナノ・材料	インクジェット法によるフ レキシブルトランジスタの 作製	客員教授(当時) 理工学術院 先進理工学部	単層カーボンナノチューブ (Single Walled Carbon Nano-Tubes) を有機溶媒に溶かした溶液をインクとして、プラスチック基板上にインクジェット法で有機トランジスタを作製できる。		2011/09/09
研究	2011-0909-01	環境 ナノ・材料	有機発光トランジスタ	客員教授(当時) 理工学術院 先進理工学部	ダイオードではなくトランジスタ構造により大電流を流すこと が可能となり、発光現象を得られている。発振の条件を詰める ことで、有機レーザーを実現できる。		2011/09/09
研究	2011-0909-04	環境	化学再生による熱エネルギ 一の質の向上	教授 理工学術院 創造理工学部	熱エネルギーは容易かつ大量に得ることができる反面、不可逆でエクセルギー率の高い状態を維持するのが困難であった。これに対し、化学再生では、水蒸気改質や部分酸化などのエクセルギー低下プロセスによって、エクセルギー率の下がった中低温の熱エネルギーを化学的に汲み上げることで、再び高いエクセルギー率の可能性を創出することができる。		2011/09/09
研究	2011-0909-03	環境	リチウムシリケートによる CO2分離回収技術	教授 理工学術院 創造理工学部	東芝で開発された「リチウムシリケート (Li4Si04) 」は、600 ℃でC02を吸収し、800℃以上でC02を放出する繰り返し使用可能 な固体吸収材である。水蒸気の存在下で吸収速度が向上し、純C 02の分離回収が200℃程度の温度スイング操作で可能、自重の30% もの吸収容量があるなど優れた特徴を持つ。		2011/09/09
研究	2025-1107-02	ナノ・材料	温度変化で可逆的に形態変 化するハイドロゲル	客員次席研究員			2025/11/07
特許	2922	ナノ・材料	生体付着ゲル、生体電極及 び電極ユニット	教授 理工学術院 創造理工学部			2025/10/20
特許	2890	ナノ・材料	シングルラップジョイント の接合強度評価装置及びそ のプログラム	教授 理工学術院 基幹理工学部			2025/10/20
特許	2985	ナノ・材料	SSL3変異体、およびS SL3変異体を用いたボト リオコッセンの一酵素合成	教授 理工学術院 先進理工学部			2025/10/20
特許	2984	ナノ・材料	4-ヒドロキシ-3-メチル- 2-ブテニルニリン酸レダ クターゼの変異型ポリペプ チド	教授 理工学術院 先進理工学部			2025/10/20
特許	2972	ナノ・材料	自己修復材料	客員次席研究員			2025/10/20
特許	2899	ナノ・材料	温度応答性ハイドロゲルの 製造方法及び温度応答性ハ イドロゲル	客員次席研究員			2025/10/20
特許	2916	ナノ・材料	表面増強ラマン散乱分光用 光学素子及び表面増強ラマ ン散乱分光装置	教授 理工学術院 先進理工学部			2025/10/20
特許	2735	ナノ・材料	周波数フィルタ	教授 理工学術院 先進理工学部	分極反転または分極一致積層型の圧電層共振子を用い、入力部 と出力部を音響反射器で挟む構成の周波数フィルタ。単独で帯 域フィルタとして機能し、従来のSAWフィルタに比べて耐電圧 性を高めつつ、広帯域かつ安定した周波数特性を実現する	特開2025-099 369	2025/10/20
特許	2707	ナノ・材料	蛍光分析装置	講師 理工学術院 基幹理工学部	マイクロ流路デバイス内で発生する微弱な蛍光を高感度に検出 可能な蛍光分析装置である。励起光を効率的に集光し、光電子 増倍管で検出することで、従来の顕微鏡に比べS/N比を改善し 、微小な反応場での生化学・化学反応を高精度に解析できる。	特開2025-111 198	2025/10/20
特許	2699	ナノ・材料	銀触媒核を用いた高機能アニオン交換膜の無電解析出 プロセス	教授 理工学術院 先進理工学部	本発明はアニオン交換膜上に安価な銀を触媒核として用い、広 範な金属または合金薄膜を無電解析出により形成する新たな製 造方法です。従来のパラジウムに比べて高性能・低コストな代 替技術を実現します。	特開2025-039 048	2025/07/08
特許	2906	ナノ・材料	二酸化炭素吸収液	教授 理工学術院 先進理工学部			2025/07/08
特許	2925	ナノ・材料	光学素子	教授 理工学術院 基幹理工学部			2025/07/07
特許	2907	ナノ・材料	二酸化炭素吸収液	教授 理工学術院 先進理工学部			2025/07/07
特許	2577	ナノ・材料	ファイバレーザ装置、光ファイバ共振器及びその製造 方法	教授 理工学術院 先進理工学部			2025/03/03
特許	2851	ナノ・材料	CNT膜の製造方法およびCNT 膜	教授 理工学術院 創造理工学部			2025/01/07
特許	2799	ナノ・材料	データ処理方法、データ処理装置、及びデータ処理プログラム	教授 理工学術院 基幹理工学部			2024/09/03
特許	2790	ナノ・材料	六角筒連続体の製造方法	教授 理工学術院 基幹理工学部			2024/07/05
研究	2024-0206-04	ナノ・材料	マイクロデバイスに特化し た分析機器	講師 理工学術院 基幹理工学部			2024/02/06
研究	2024-0206-02	ナノ・材料	「埋もれた界面」の計測技 術 SERSを用いたプラズモ ンセンサ及び測定システム	教授 理工学術院 先進理工学部			2024/02/06

種別	シーズ番号	分野	タイトル	研究者	シーズ概要	特許番号等	掲載日
研究	2023-1025-06	ナノ・材料	流体制御による高効率細胞 トラップデバイスの開発	講師 理工学術院 基幹理工学部	◆ 独自流路構造によって細胞の単離や任意の細胞の取り出しに 成功		2023/10/25
研究	2023-0127-07	ナノ・材料	3Dナノ界面を有する異種 材料接合技術	教授 理工学術院 基幹理工学部			2023/01/27
研究	2023-0127-06	ナノ・材料	切り紙構造を用いたフレキ シブル熱電発電デバイス	教授 理工学術院 基幹理工学部			2023/01/27
研究	2023-0127-05	ナノ・材料	新しい化学反応手法の確立	講師 理工学術院 基幹理工学部			2023/01/27
研究	2023-0127-04	ナノ・材料	感圧/感温塗料を用いた可 視化計測技術	教授 理工学術院 創造理工学部			2023/01/27
研究	2023-0127-03	ナノ・材料	気相で保存できそのまま使 える高分子とタンパク質の 複合化分子認識・センシン グ材料の開発	教授 理工学術院 先進理工学部			2023/01/27
研究	2023-0127-02	ナノ・材料	大量センサへ配線レスで給 電する素子の開発	教授 理工学術院 先進理工学部			2023/01/27
研究	2023-0127-01	ナノ・材料	海水のイオン導電性を利用 した海中無線通信 〜海水 管,漁業用いけす内のワイ ヤレスリアルタイムモニタ リングが可能に〜	教授(当時) 理工学術院 基幹理工学部			2023/01/27
研究	2022-0203-09	ナノ・材料	低損失テーパ光ファイバと 高0値微小光共振器	教授 理工学術院 先進理工学部	◆ 独自の技術を用いて、99.7% 以上の透過率を持つ低損失のナノ光ファイバーの開発に成功◆ さらに、ナノ光ファイバーとファイバーブラッグ格子 (FBG) を組み合わせた「ナノ光ファイバー共振器QED」を 開発。これにレーザー冷却・トラップされた単一原子を結合させることで、世界で初めて全ファイバーキャビティQED系を実現◆ キャビティQED系同士を伝搬モードを介して低損失に接続することができれば、多数のキャビティQED系が巨視的距離を隔てて結合した量子ネットワークの構築が可能となる。		2022/02/03
研究	2022-0203-08	ナノ・材料	「ナノ光ファイバー共振器 QED」を用いた量子コンピ ュータの開発	教授 理工学術院 先進理工学部	◆ 独自技術の「ナノ光ファイバー共振器QED」を使った分散型 量子コンピュータを提案◆ 独自の共振器は光の光子や原子を量 子ビットとして取り扱う。この光ファイバーに組み込んだユニットの一つひとつが量子コンピュータとなり、一般的な光ファ イバと同じように接続可能		2022/02/03
研究	2022-0203-07	ナノ・材料	半球面電極を備えた高分解 能ディスプレイ型光電子分 析器による構造と電子状態 の同時観測方法	客員上級研究員 (当時)	◆ 2013年、先端科学技術大学院大学の松下教授が電子軌道シミュレーションを用いて新しいタイプの電子アナライザーの原理 (RFA:阻止電場型分析器)とそれに使う特殊な半球面電極を発明。早稲田大学の水野教授が長年蓄積してきたマイクロ加工技術のノウハウを活用して、株式会社IMUZAKと半球面電極(3次元Microメッシュ電極)を完成させた。◆ 半球面電極(3次元Microメッシュ電極)とRFA (阻止電場型分析器)を組み合わせることにより、PEH(光電子ホログラフィー)による立体原子配列観測に加え、ARPES (角度分解光電子分光)による電子構造観測とが可能なディスプレイ型光電子分析器を実現。◆ 2021年4月にSPring-8ビームラインBL25SUの実験装置として導入。今後の材料開発の加速化を期待。		2022/02/03
研究	2022-0203-05	ナノ・材料	異種材料の低温大気圧ハイ ブリッド接合技術	客員上級研究員 (当時)	◆ 配線金属と透明基板材料の150℃・大気圧雰囲気での混載接合 (他材料接合事例あり) IEEE NANO ベストポスターペーパ 一賞,日刊工業新聞掲載(2013.10.25),関連特許2件 など		2022/02/03
研究	2022-0203-04	ナノ・材料	Ag エアロゲル膜・界面接 合材料 界面を電気的・熱 的・機械的に、容易に安定 に繋ぐ	教授 理工学術院 先進理工学部	◆ Ag粒子が連なるユニークなエアロゲル構造◆ Agのみで構成、低温で焼結してバルク化、電気的・熱的・機械的に界面接合、高耐熱◆ 少量のAg (~10 mg/cm2, ~1 JPY/cm2)で短時間・高収率で作製可能		2022/02/03
研究	2022-0203-03	ナノ・材料	単層カーボンナノチューブ の火炎合成法	教授 理工学術院 先進理工学部	◆ 予混合火炎によるガス吸熱と触媒原料の瞬間分解◆ 炭素源との急速混合、触媒とCNTの高密度発生→直径1 nmの単層CNTの連続合成		2022/02/03
研究	2022-0203-02	ナノ・材料	炭化水素の CNT と水素へ のリフォーミング	教授 理工学術院 先進理工学部	◆ 独自の流動層法で炭化水素からCNTを高収率合成、炭化水素CnHmの中の、CをCNTに、HをH2に		2022/02/03
研究	2022-0203-01	ナノ・材料	微小液滴の化学反応への応 用展開	講師 理工学術院 基幹理工学部	◆ 微小液滴生成の安定化に向けたマイクロデバイスのデザインの工夫や流路表面処理,流量条件の検討◆ 化学反応場制御のための化学物質のカプセル化		2022/02/03
特許	2414	ナノ・材料	窒化ホウ素ナノチューブ(BNNT)の新規製造方法	教授 理工学術院 先進理工学部	◆ 新規なBNNTの製造方法 一ホウ酸蒸気を用いたCVD法による製造方法	特許第751017 3号	2021/10/11
特許	2294	ナノ・材料	一酸化炭素の生成方法、前 駆体の製造方法およびケミ カルルーピングシステム用 材料	教授 理工学術院 先進理工学部		特許第749150 5号	2021/09/06
特許	2177	ナノ・材料	重金属類吸着剤およびその 製造方法	教授 理工学術院 創造理工学部	自然由来土壌、工場跡地等及び廃棄物焼却灰から溶出する重金 属類を吸着して不溶化剤として作用する重金属類吸着剤、不溶 化剤およびその製造方法に関するものである。	特許6818330 号	2021/04/20
特許	2217	ナノ・材料	正極材および蓄電デバイス	教授 理工学術院 先進理工学部		特許第720257 0号	2021/01/22

種別	シーズ番号	分野	タイトル	研究者	シーズ概要	特許番号等	掲載日
研究	2020-1124-03	ナノ・材料	単一入力信号によるMEMSマイクロミラーの3次元駆動	教授 理工学術院 基幹理工学部	◆ 単一の駆動機構により3つの共振モードを出力◆ 3つの共振 周波数を重ね合わせた一つの信号の入力によって3次元に駆動		2020/12/17
研究	2020-1124-01	ナノ・材料	窒化ホウ素ナノチューブ(BNNT)の新規製造方法	教授 理工学術院 先進理工学部	◆ 新規なBNNTの製造方法 一ホウ酸蒸気を用いたCVD法に よる製造方法		2020/12/17
研究	2020-1124-02	ナノ・材料	異種接合材の純モード 層 間破壊靱性評価試験法の開 発	教授 理工学術院 基幹理工学部	◆ DCB試験の応用 ◆ 異種材接合に伴う混合モードの影響を除去 ◆ 熱残留応力の影響をキャンセル◆ 正確なモード I 層間破壊靱 性の評価		2020/12/17
特許	2291	ナノ・材料	CNT-PSS透明導電膜:簡易・柔軟・低抵抗・安定	教授 理工学術院 先進理工学部	◆ PSS水溶液にCNTを分散させて製膜する だけの簡易な手法の 提供 ◆ 低抵抗(115 Ω/sq)、高透過率(90%)、 高い耐久性(>10 00 h)、耐熱性(250 図C)を実現	特許第753572 8号	2020/11/12
特許	2316	ナノ・材料	ダイヤモンド電界効果トラ ンジスタ及びその製造方法	教授(当時) 理工学術院 基幹理工学部		特許第749154 7号	2020/11/12
特許	2127	ナノ・材料	ポリマー、電極活物質及び 二次電池	教授 理工学術院 先進理工学部			2020/06/17
研究	2020-0131-10	ナノ・材料	見えない物質から心のスト レスを見る	客員上級研究員 (当時) 研究院(研究機関)	◆ 由来の異なる多数の医学的に重要なストレス物質信号を検出 ◆ 1 チップ上の複数センサー信号から複数ストレス物質濃度を即時に推定◆ 日内変動,個人の特徴を考慮したストレスマネジメントフィードバック		2020/02/06
研究	2020-0131-09	ナノ・材料	矩形波インピーダンス解析 による電池診断		◆ バッテリーマネージメントシステム(BMS)にあるパワーコントローラーによる制御で、矩形波等の単純な出力波形を生成し、インピーダンス測定ができる。		2020/02/06
研究	2020-0131-08	ナノ・材料	太陽光下・水からの極めて 簡便な過酸化水素の製造法	特任研究教授 (当時) 理工学術院 理工学術院総合研究 所	◆ ポリチオフェン類のフィルムが太陽光を吸収しかつ酸素の還元触媒として作動することを見出した。 汎用廉価な水の酸化触媒と貼り合わせ、弱アルカリ水に浸漬、太陽光照射すると画期的に高い速度で(>140 mg (H202) g-1 h-1) 過酸化水素を製造できる。		2020/02/06
研究	2020-0131-07	ナノ・材料	3Dナノ界面を有する異種 材料接合技術	教授 理工学術院 基幹理工学部	◆ AI表面上の3Dナノ構造の作製◆ シランカップリング処理による接合強度の向上◆ CFRTPとAlのホットプレスによる直接接合◆ せん断強度及び破壊靭性の評価		2020/02/06
研究	2020-0131-06	ナノ・材料	歩いて走るロボット結晶	客員上級研究員 (当時)	◆ 光や熱で動く結晶アクチュエータ◆ 軽くてタフな有機メカニカル結晶◆ ソフトロボットへの実用化		2020/02/06
研究	2020-0131-05	ナノ・材料	カーボンナノチューブ(CN T)の精製方法	教授 理工学術院 先進理工学部	◆ ハロゲンガスによるシンプルかつドライでの処理方法◆ 後処理可能、精製されたCNTにダメージを与えない◆ 90%以上の金属触媒を除去◆ アーク法、CVD法、浮遊法からのCNTに有効		2020/02/06
研究	2020-0131-04	ナノ・材料	世界初、10 cm以上のCNTフォレスト	付属機関・学校 高等研究所	◆ 新規合成手法による長尺CNTフォレスト 触媒構成 × 反応 装置		2020/02/06
研究	2020-0131-03	ナノ・材料	電気による新たな海中無線 通信の開発	教授(当時) 理工学術院 基幹理工学部	◆ 海水の導電性を利用した電気通信 ◆ 送信側:金属電極 ⇔ 受信側:液体中で動作するトランジスタ型センサ◆ 金属 電極に矩形波の電圧を印加 ☑ 受信側にパルス波が伝搬		2020/02/06
研究	2020-0131-02	ナノ・材料	CNT-PSS透明導電膜:簡易 ·柔軟·低抵抗·安定	教授 理工学術院 先進理工学部	◆ PSS水溶液にCNTを分散させて製膜する だけの簡易な手法の 提供 ◆ 低抵抗(115 Ω/sq)、高透過率(90%)、 高い耐久性(>10 00 h)、耐熱性(250 図C)を実現		2020/02/06
研究	2020-0131-01	ナノ・材料	触れるだけで通信可能なナ ノシート電子デバイス	教授 理工学術院 創造理工学部	◆ 高分子ナノシートを基材とする柔軟な電子デバイス 電界式NFC(eNFC)による無線給電・通信 ◆ 装着の違和感が ない次世代ウェアラブルデバイス		2020/02/06
特許	2214	ナノ・材料	カーボンナノチューブの製 造装置および製造方法	教授 理工学術院 先進理工学部		特許第715864 6号	2019/10/16
研究	2019-0312-07	ナノ・材料	高強度,高導電性,軽量CN T細線の開発	教授 理工学術院 基幹理工学部	◆ 垂直配向CNTアレイから無撚CNT糸を作製(Fig. 1)◆ 黒鉛化処理によってCNTの不純物,欠陥構造を除去◆ ポリマーや金属を複合し(Fig. 2) ,CNT間に荷重伝達力と導電性を付与		2019/04/22
研究	2019-0312-06	ナノ・材料	視覚的な質感情報を提示す るデバイス	教授 理工学術院 基幹理工学部	◆ 色の混色と同様に、つやつやな表面とざらざらな表面を空間的に並置することで中間的な視覚的質感を提示する。◆ つやつやな表面とざらざらな表面の面積割合を変化させることで異なる中間的な視覚的質感を提示することができる		2019/04/22
研究	2019-0312-05	ナノ・材料	ソフト電池	教授 理工学術院 先進理工学部	◆ 独自のCNTスポンジ電極の組合せ、多量のLiイオンを出入れ する正負の電極の提供 ◆ CNTのスポンジ電極により、正極が 膨張したとき負極は収縮するので体積が一定に保たれる◆ 金属 箔を用いない構造、付随物を最小化した「無駄のない」新規構 造の二次電池		2019/04/22
研究	2019-0312-04	ナノ・材料	窒化ホウ素ナノチューブ耐 熱セパレータと電池部材	教授 理工学術院 先進理工学部	◆ 高耐熱BNNTセパレータ(>>500 図C) バインダレス、高空隙率 、高イオン拡散性◆ 薄い正極/セパレータ/負極を積層した一体 構造物によるイオン拡散性向上と機械強度の両立◆ CNT集電体 による金属箔レス・軽量電池→安全性、高出力密度、高エネル ギー密度		2019/04/22
研究	2019-0312-03	ナノ・材料	セルロースナノファイバー 銀粒子エアロゲル異方性導 電膜	教授 理工学術院 先進理工学部	◆ ナノファイバ (例:セルロースナノファイバ) と金属粒子と空気のみからなる構造◆ 樹脂に覆われない金属粒が面方向に確実に導電◆ 空気が隣接電極間を絶縁させる		2019/04/22
研究	2019-0312-02	ナノ・材料	生体組織に適用可能な薄膜 状アンテナコイル	教授 理工学術院 先進理工学部	◆ 層状物質の多層グラフェンフレークと金ナノインクからなる 2層配線をガラス基板上にインクジェット印刷し、高温処理(25 0℃)により低抵抗な印刷配線(抵抗率:2.9×10-5 Ω・cm)を実現◆ グラフェンフレークが剥離する性質を利用して、印刷配線を低耐熱性の高分子薄膜(Tg: 56℃)に転写		2019/04/22

種別	シーズ番号	分野	タイトル	研究者	シーズ概要	特許番号等	掲載日
研究	2019-0312-01	ナノ・材料	半導体素子における新接合 構造の開発	教授(当時) 理工学術院 大学院情報生産シス テム研究科	◆ Alマイクロ粒子混合によるボイドの減少効果の検証◆ Niナノ 粒子/Alマイクロ粒子混合ペーストにより形成した接合構造の 応力緩和効果の検証◆ SiC-SBDを用いた高耐熱性評価		2019/03/12
研究	2018-1026-05	ナノ・材料 ものづくり 技術	電子線利用微細光学パターン作製法	教授 理工学術院 先進理工学部	◆ 電子線照射によりナノスケール光学パターンを作製◆ 高分子 膜を原料とし特異な光学特性を発現◆ 電子線照射量の調整により発光特性の制御を実現		2018/10/26
特許	2039	ナノ・材料	ノーマリオフ動作ダイヤモ ンド電力素子及びこれを用 いたインバータ	教授(当時) 理工学術院 基幹理工学部		第7017016号	2018/04/18
特許	1931	ナノ・材料	組電池、電池モジュールお よび電池モジュールの評価 方法	特任研究教授 (当時)		第6561407号	2017/06/23
特許	1923	ナノ・材料	トランス及び該トランスを 用いたレクテナ	教授 理工学術院 先進理工学部		特許第695574 7号	2017/06/23
特許	1870	ナノ・材料	二次電池	教授 理工学術院 先進理工学部		特許第686012 5号	2017/03/10
特許	1843	ナノ・材料	トランジスタの製造方法及 びセンサ素子	教授(当時) 理工学術院 基幹理工学部		特許第620501 7号	2017/03/06
特許	1618	ナノ・材料	テーパ光ファイバの製造方 法	教授 理工学術院 先進理工学部		特許第644840 8号	2017/03/06
研究	2017-0223-05	ナノ・材料	超薄膜 光ルミネッセンス センサー	客員主任研究員 (当時)	◆ 自己支持性高分子ナノシート(数十〜数百ナノメートル厚)からなる光ルミネッセンスセンサー◆ 担持するセンサー色素の種類に応じて検出項目を選択可能(例:温度・酸素濃度)◆ レシオメトリックな生体情報のセンシング		2017/02/23
研究	2017-0223-04	ナノ・材料	単一入力信号によるMEMSマイクロミラーの3次元駆動	教授 理工学術院 基幹理工学部	◆ 単一の駆動機構により3つの共振モードを出力◆ 3つの共振 周波数を重ね合わせた一つの信号の入力によって3次元に駆動		2017/02/23
研究	2016-1024-05	ナノ・材料	食の安全を守るバイオセン シング技術の開発	研究院(研究機関)	◆ 半導体バイオセンサを用いて、食品中の微量含有物質の簡易 検出を行う。◆ 微量でもアナフィラキシーショックを引き起こ す食物アレルゲンの有無を判定する技術を開発した。		2016/10/24
研究	2016-1024-04	ナノ・材料	生体表皮における化学バラ ンスのモニタ	客員上級研究員 (当時) 研究院(研究機関)	◆ 複数の化学物質をスマホから同時モニタする技術を開発 (Fig.1) ◆ 心と体の健康に繋がるホルモンや免疫物質を検出 (Fig.2)◆ 皮膚pHを10秒以下で正確に測定する手法を開発 (Fig.3)		2016/10/24
特許	1827	ナノ・材料	曲げ変形および伸縮変形可 能な電子デバイス	教授 理工学術院 基幹理工学部		第6773956号	2016/07/05
特許	1828	ナノ・材料	視覚的質感提示デバイスお よび視覚的質感提示方法	教授 理工学術院 基幹理工学部		第6749630号	2016/07/05
特許	1782	ナノ・材料	電力素子	教授(当時) 理工学術院 基幹理工学部		第6712735	2016/04/08
研究	2016-0204-01	ナノ・材料	高機能化CNT細線の開発	金 太成 理工学術院	◆垂直配向CNTアレイから無燃CNT糸を連続的に紡績 (Fig. 1) ◆電解めっき処理によってCNT複合繊維を創製 (Fig. 2) ◆様々な金属によるめっき形態の制御が可能 (Fig. 3) ◆銅線の36.1%にあたる2.14×107 S/mの電気伝導率を達成		2016/02/04
研究	2016-0203-09	ナノ・材料	マイクロ流体白色有機EL	小林 直史 理工学術院 基幹理工学研究科 電子物理システム学 専攻	◆液体発光材料として青緑色と黄色の液体有機半導体を使用◆集積化された60⊠m幅の微細マイクロ流路を作製◆青緑色と黄色液体材料をマイクロ流路に交互に注入 (Fig. 3)◆青緑色と黄色の同時発光により白色光の実現 (Fig. 4 (a),(b))		2016/02/03
研究	2016-0203-08	ナノ・材料	ナノダイヤモンドp型透明 電極	教授(当時) 理工学術院 基幹理工学部	◆高濃度ボロンをドープしても、高い透明性および優れた電気 特性を有するナノダイヤモンドp型透明電極体の製造方法◆アン ドープのダイヤモンド層上に高濃度ドープ層を重ねた2層構造 を形成して実現		2016/02/03
研究	2016-0203-07	ナノ・材料	ダイヤモンド基板上の垂直 配向グラファイト層	教授(当時) 理工学術院 基幹理工学部	◆ダイヤモンド(100)表面に高温イオン注入する◆注入後の熱処理(1700℃、2時間)により、格子間の炭素原子が表面に拡散◆垂直配向グラファイト層が形成		2016/02/03
研究	2016-0203-06	ナノ・材料	多結晶ダイヤモンド上のパワーMOSFET(ダイヤモンド電界効果トランジスタ及びその製造方法)	教授(当時) 理工学術院 基幹理工学部	◆多結晶ダイヤモンド(黒い)上にMOSFETを作製 ◆顕著な変調 ・良好なデバイス特性◆逆阻止耐圧1800Vを達成		2016/02/03
研究	2016-0203-05	ナノ・材料	「埋もれた界面」の計測技 術 - SERSを用いたプラズ モンセンサ及び測定システ ム	教授 理工学術院 先進理工学部	◆ナノスケールでの固液界面など材料表面から埋もれた界面や 原子レベルの化学構造変化が測定可能		2016/02/03
研究	2016-0203-04	ナノ・材料	近接場分光顕微装置	教授 理工学術院 先進理工学部	◆ナノメートルの空間分解能で試料の分光特性評価が可能◆単一 波長での測定に限定されていた反射観察を多波長に拡張◆「位 相ステッピング法」により広帯域かつ高精度の分光測定を実現 ◆測定対象が不透明なものでも測定可能に		2016/02/03
研究	2016-0203-03	ナノ・材料	大強度広帯域テラヘルツ波 発生手法 (電磁波発生装置 及びその方法)	付属機関・学校 高等研究所	◆電子線による高強度広帯域テラヘルツ波発生◆電子線の傾きの利用により高効率化を実現◆広帯域性を有し、テラヘルツ分光などに有効◆テラヘルツカメラにも応答する高強度性		2016/02/03

種別	シーズ番号	分野	タイトル	研究者	シーズ概要	特許番号等	掲載日
研究	2016-0203-02	ナノ・材料	高分子ナノシートを用いた 電子デバイス	客員主任研究員 (当時)	◆自己支持性高分子ナノシート(数十~数百ナノメートル厚)を 基材とする柔軟な電子デバイス◆銀ナノ粒子のインクジェット 印刷による室温での配線形成が可能◆ハンダ付け不要の分子間 力による電子素子の実装		2016/02/03
研究	2016-0203-01	ナノ・材料	光で曲がる結晶材料	小島 秀子 ナノライフ創新研究 機構	◆光駆動アクチュエータ用結晶材料◆形状記憶合金に替わるフォトメカニカル結晶材料◆MEMSに替わる結晶機械		2016/02/03
研究	2015-0424-01	ナノ・材料	新しい有機発光デバイス: LEC	理工学術院 大学院先進理工学研 究科	・電気化学とエレクトロニクスの融合素子・LECに特化したイオン液体・塗布プロセス等による低コスト製法		2015/04/24
研究	2015-0303-09	ナノ・材料 エネルギー	FeCo系合金の逆磁歪効果を 用いた小型発電素子	研究院(研究機関)	・新磁歪材料FeCo系合金の開発 - 加工が容易、耐久性がある (開発元:弘前大学、東北大学金属材料研究所、東北特殊鋼株式会社)・高い発電効率を有する振動発電デバイス		2015/03/03
研究	2015-0303-07	ナノ・材料	低損失テーパ光ファイバと 高0値微小光共振器	教授 理工学術院 先進理工学部	・世界最高透過率・最短の低損失テーパ光ファイバ・高いQ値 を持つ微小光共振器		2015/03/03
研究	2015-0303-06	ナノ・材料	自己修復機能を有する金属 配線	教授 理工学術院 基幹理工学部	・高伝導率・高伸縮耐性を有する電気配線を実現・断線部のみ を選択的に修復する「自己修復機能」		2015/03/03
研究	2015-0303-05	ナノ・材料	マイクロ・ナノデバイス	教授(当時) 理工学術院 基幹理工学部	・研究と技能に裏付けられた微細加工技術・化学/生化学分析 ・合成や細胞解析への応用		2015/03/03
研究	2015-0303-04	ナノ・材料	自己組織化膜(SAM)を用 いた電鋳技術	教授 理工学術院 先進理工学部	・無電解Ni系で良好な電鋳金型形成・ナノサイズかつ複雑な形 状を精巧に実現		2015/03/03
研究	2015-0303-03	ナノ・材料	新しいワイドギャップ半導体・・・酸化ガリウム単結 晶	参与(当時) 理工学術院 (当時)	・新しいワイドギャップ半導体 β -Ga203の提案と実証・大気圧で融液成長ができる — Siなど従来半導体と同じ育成の容易さ — 低コスト化に有利、物理的・化学的にも安定・広い導電性の制御幅(大きなパンドギャップ:4.8eV)		2015/03/03
研究	2014-0122-07	ナノ・材料	異種材料の低温大気圧ハイ ブリッド接合技術	客員上級研究員 (当時)	・配線金属と透明基板材料の150℃・大気圧雰囲気での混載接合 (他材料接合事例あり) IEEE NANO ベストポスターペーパー 賞、日刊工業新聞掲載(2013.10.25),関連特許2件 など		2014/01/31
研究	2014-0122-06	ナノ・材料	ナノインプリント技術を用 いた高品質GaNテンプレー ト基板	客員上級研究員 (当時)	・ナノインプリント技術によるナノサイズのマスクパターン転写技術・ドライエッチング技術によるELOに適したマスクパターン形成技術・HVPE技術によるGaN結晶成長技術(古河機械金属(株))・光学測定による結晶性/残留歪評価技術(金沢工業大学)		2014/01/31
研究	2014-0122-03	ナノ・材料	EB-NILによる極微細構造体 作製	教授(当時) 理工学術院 理工学術院総合研究 所	・省エネ・低コストでの微小部材作製方法・生体適合性に優れた微小部材・極限環境下で使用可能な耐薬品・耐熱・耐放射線性に優れたフッ素系微小部材		2014/01/31
研究	2014-0122-02	ナノ・材料	新規なプラズモンセンサ及 びラマン分光法を用いた界 面計測技術	教授 理工学術院 先進理工学部	・表面プラズモンセンサと表面増強ラマン散乱を応用したラマン分光法による界面計測技術・新規なナノ構造の「反射型プラズモンセンサ」を開発・測定物に対応した自由なセンサ部の設計が可能・固液界面を深さ分解能0.1nm以下、非破壊での観察を実現		2014/01/23
研究	2014-0122-05	ナノ・材料	ダイヤモンド半導体を用い た高信頼性電力素子	教授(当時) 理工学術院 基幹理工学部	・550℃の大気中でも導電性が確保され、絶縁性が向上した保護 膜の製造方法・表面を水素化したダイヤモンド基板上に2層の 保護膜を形成することで実現		2014/01/23
研究	2012-1019-01	ナノ・材料	ナノ粒子発光体フィルムの 作製および太陽電池への適 用など	教授 理工学術院 理工学術院総合研究 所	本研究室では、数nmのナノ粒子発光体をボールミル粉砕方法で製造した。ナノ粒子発光体を使用して、全波長領域で90%以上の透過率を有する透明薄膜を作製した。 太陽電池上に以下の条件を満たす赤色蛍光体透明薄膜を作製する。 ①短波長光を長波長光に波長変換 ②長波長光はそのまま透過(→ナノ粒子を使用)赤色蛍光体として以下の2種類の材料を使用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		2012/10/19
研究	2012-0928-04	ナノ・材料	イオン照射による機能性光 透過材料の創出	特任研究教授 (当時) 理工学術院 先進理工学部	当研究室では、イオン照射による機能性光透過材料の創出を行っている。我々は、高分子材料であるフッ素化ポリイミドにイオン照射を行うことにより屈折率上昇が見られ、高分子光導波路の高機能化を実現。		2012/09/28
研究	2012-0928-03	ナノ・材料	新しい導波モードセンサの 開発	特任研究教授 (当時) 理工学術院 先進理工学部	当研究室では、感度、可搬性、操作を兼ね備えた導波モードセンサを用いて、様々な物質の検出や物質常数の測定が可能であると考え、新しい導波モードセンサを開発している。電気化学的手法と導波モードセンサの光学的手法を組み合わせることにより、これまでにないセンサの開発が期待される。 1.メッキ液の基本組成に加え、添加剤の管理も自動で行えるAii-in-One型自動液管理装置の実現。 2.環境基準値の重金属溶液を簡易に検出できるセンサの実現		2012/09/28

種別	シーズ番号	分野	タイトル	研究者	シーズ概要	特許番号等	掲載日
研究	2012-0928-01	ナノ・材料	高分子ナノコンポジットの 実用化に向けた電気特性解 明	特任研究教授 (当時) 理工学術院 先進理工学部	当研究室では、高分子ナノコンポジットの実用化に向けて、以下の様な研究を実施している。 ・無機フィラーによるエポキシ樹脂ナノコンポジットの絶縁・誘電特性制御・小型化されたパワー半導体モジュールに適した高絶縁・高熱伝導材料の開発・作製・高周波対応磁性・誘電材料の創出		2012/09/28
研究	2012-0712-06	ナノ・材料	ナノ粒子配列基板の製造	特任研究教授 (当時)	化学合成法により得られる粒径数ナノメートルの磁性粒子1つを1記録ビットとするビットパターン型垂直磁気媒体 (BPM) を実現するためのナノ粒子の配列技術を提供する. 図は、物理的ガイドを設けた基板上に有機分子を化学修飾して、その上にFe Pt粒子を並べた様子を観察したSEM像である、粒子のある程度の規則配列集団は、粒子分散溶液の乾燥時に出来るメニスカス表面に形成されているが、規則配列集団は様々な向きを持つことが可能である。このため基板に固定化された粒子の配列には、数10から数100 nmナノメートルの大きさのドメインの配列には、より10から数100 nmナノメートルの大きさのドメインが見られるようになり、この範囲で粒子配列に乱化を生じさせる。また、ごく僅かの粒径の差によっても粒子間に働く力が不均等になり、同じく配列に乱れを誘起させる原因とになる。物理的ガイドは、より強い力でこのドメインの乱れを防止する役割としてために設けている。		2012/07/12
研究	2012-0712-05	ナノ・材料	低抵抗と優れた機械強度を 実現するハードゴールドめ っき技術	特任研究教授 (当時)	硬質AuNiめっき膜に炭素を導入することで、めっき薄膜の構造を非晶質化し、抵抗率を下げることなく、大幅に耐摩耗性を高めたAuNiCめっき膜作製に係る技術.		2012/07/12
研究	2012-0712-04	ナノ・材料	オールウエットULSI作製プロセス	特任研究教授 (当時)	本技術は、シリコン基板、low-k基板、ポリイミド基板上へのパリア層形成およびその後に続く銅配線を提供する.無電解めっき法を用いて成膜したパリア膜では、Gnm厚さまでの薄膜化を確認している.また無電解めっき、あるいは電気めっきを用いての微細トレンチへの銅埋め込みおよび保護層形成に成功している.		2012/07/12
研究	2012-0307-01	ナノ・材料	有機"やわらか"二次電池	特任研究教授 (当時) 理工学術院 理工学術院総合研究 所	迅速かつ可逆な電子授受能力を有し、室温大気下でも安定に取 り扱える高分子(レドックスポリマー)の開発。		2012/03/07
研究	2011-0922-03	ナノ・材料	二次電池電極材料及び電解 質の開発	教授 理工学術院 先進理工学部	正極材料として、石油精製過程での副産物であるSを利用して 生成したLi2Sを使用した二次電池の作製。		2011/09/22
研究	2011-0916-01	ナノ・材料	大規模分子シミュレーション	教授 理工学術院 基幹理工学部	「ダイナミックボンド型大規模分子動力学法」により、化学反応も含めた大規模分子シミュレーションを行うことができる。		2011/09/16
研究	2011-0906-03	ナノ・材料 エネルギー	有機空気二次電池	教授 理工学術院 先進理工学部	有機二次電池の正極を空気にした有機空気二次電池を開発した。短時間(数秒)で充電することが可能である。また、500回の充放電サイクル試験後でも容量低下がほとんど見られない。 負極材料としてはアントラキノンを置換した有機ポリマー材料を用いており、多電子酸化還元(レドックス)反応による高エネルギー密度化(221 mAh/g)を実現した。		2011/09/06
研究	2011-0906-02	ナノ・材料 エネルギー	貴金属ナノ微粒子(プラズ モニック物質)による光エ ネルギー制御	教授 理工学術院 先進理工学部	所有する近接場光学顕微鏡を用いて、プラズモニック物質のプラズモンを観察・可視化するこができる。プラズモニック物質は光と相互作用することで、様々な性質を見せるが、その経過を高い時間分解能・空間分解能で観察することができる。		2011/09/06
研究	2011-0906-01	ナノ・材料	近接場光学顕微鏡での物質 観察	教授 理工学術院 先進理工学部	近接場光学顕微鏡を使うことで、測定範囲10~100ミクロン四 方で、物質の形状に加えて「色」を観察できる。		2011/09/06
特許	2975	エネルギー	二酸化炭素分離回収システム	助教 理工学術院 創造理工学部			2025/10/20
特許	2198	エネルギー	重合体、硬化性組成物、硬 化膜及び重合体の製造方法	特任研究教授 (当時) 理工学術院 理工学術院総合研究 所			2019/10/16
研究	2017-0223-02	エネルギー	スケーラブル・マイクロ熱 電発電デバイスの開発	教授 理工学術院 基幹理工学部	◆ Siナノワイヤの優れた熱電変換性能を利用◆ Si-LSI製造プロセスで大量生産可能な微小熱電発電デバイス		2017/02/23
研究	2017-0223-01	エネルギー	量子効果を利用した高効率 薄膜太陽電池の研究	教授 理工学術院 先進理工学部	◆ 単接合太陽電池では最適なバンドギャップエネルギーが存在 (図1) ◆ 量子効果を生み出す超格子構造 (図2) による励起子 (図3) の生成◆ 励起子による光の効率的な吸収 (図4)		2017/02/23
特許	1123	エネルギー	多数台連系した太陽光発電 システムの出力抑制回避方 法及びその装置	教授 理工学術院 先進理工学部 電気・情報生命工学 科	太陽光発電システムが多数台連係された配電系統において、既存の装置に機能を付加しただけで需要家(住宅)間の出力抑制量の不平等を是正することが出来る。 各戸に設置されたパワーコンディショナー(PCS)の端電圧を測定し、電力管理値の設定値との差分を算出の上、個別に電圧上昇抑制機能動作電圧を設定する。	第5612417号	2013/12/25
研究	2012-1029-01	エネルギー	規則性多孔体の合成と触媒化学への展開	教授 理工学術院 先進理工学部	■ミクロ・メソ多孔体に関する研究 原料ゲルを一旦乾燥し、これを気相中で結晶化させるという方 法である。DGC法を用いると水熱合成法では得られない構造や 組成のゼオライトが得られる。また、DGC法におけるゼオライ トの結晶化機構に関する研究を進めている。DGCまたは水熱合 成法を用い、新規な構造をもつミクロポーラス結晶の探索、触 媒特性の評価、結晶化過程の解明、結晶骨格への異種元素導入 法の開発を行っている。		2012/10/29

種別	シーズ番号	分野	タイトル	研究者	シーズ概要	特許番号等	掲載日
研究	2012-0903-04	エネルギー	フォトカソードRFガンを用 いた逆コンプトン散乱軟X 線源の開発	教授(当時) 理工学術院 理工学術院総合研究 所	■フォトカソードRFガンを用いた逆コンプトン散乱軟X線源の開発 本研究は、生体観測用軟X線顕微鏡への応用を最終目的とする、逆コンプトン散乱を用いたコンパクトで高品質な軟X線源の開発である。逆コンプトン散乱とは、高エネルギーの電子と長波長の光が衝突することでより短波長の光が得られる現象であり、一般によく知られているコンプトン散乱の逆過程にあたる。 鷲尾研究室では、フォトカソードRFガンを用いた高品質電子ム源の開発とその応用研究を進めており、本研究はその応用実験の一つとして位置づけられ、これまでに逆コンプトン散乱による軟X線生成と検出に成功している。		2012/09/03
研究	2012-0903-03	エネルギー	集束イオンビーム(FIB) によるマスクレス直接エッ チング技法	教授(当時) 理工学術院 理工学術院総合研究 所	本研究では、架橋PTFEのナノスケール微細加工を検討するため、集束イオンビーム(FIB)によるマスクレス直接エッチングを試みている。 作製した微細構造体のFE-SEM像を図に示す。		2012/09/03
研究	2012-0903-02	エネルギー	放射線化学反応初期過程の 解明 〜パルスラジオリシ ス実験〜	教授(当時) 理工学術院 理工学術院総合研究 所	鷲尾研究室では、コンパクトなフォトカソードRF電子銃を用いた世界最小のパルスラジオリシスシステムの構築を行っている。現在、ナノ秒分解能システム、ピコ秒分解能システムの構築をほぼ終えた。ナノ秒システムではオシロスコープで時間挙動を直接測定できるため、短時間で多くのサンプルの測定が可能であり、かつ、ピコ秒システムと組み合わせると、幅広い時間領域で現象を追跡可能。		2012/09/03
研究	2012-0903-01	エネルギー	高品質ビーム利用実験	教授(当時) 理工学術院 理工学術院総合研究 所	鷲尾研究室では、PEMFCに関する研究を行っており、また、小型軽量化が可能な個体高分子型燃料電池 (PEFC) 用電解質膜として利用可能な素材開発に取り組んでいる。		2012/09/03
研究	2012-0807-01	エネルギー 環境	ヒートポンプを中核とした 革新的省エネルギー技術	教授 理工学術院 基幹理工学部	当該技術の特徴は、熱は暖かいものから冷たいものに移動、気体は圧力が高いところから低いところに一気に吹き出すと急激に冷却されるという二つの原理。当該技術は、運転条件により大きな省エネ余地が期待される。また、スマート化の中でヒートポンプを中心として最適なエネルギーシステムの運用をすることが重要となる。		2012/08/07
研究	2012-0712-03	エネルギー	ラミネート型リチウムイオ ン二次電池の作製技術開発	特任研究教授 (当時)	本技術は、50~1000mAhのラミネート型リチウムイオン二次電池を供給可能なことである.研究室保有の優れたドライエア環境下(供給エア:露点		2012/07/12
研究	2012-0712-02	エネルギー	インピーダンス測定による リチウムイオン電池(LIB)セルの劣化把握	特任研究教授 (当時)	本技術は、市販LIBのインピーダンス解析において市場での電 池評価に「使える」測定法の確立を目的として、電解液の抵抗 、正極・負極の界面反応、被膜、固相内のイオン拡散などの電 池内部の構成を考慮しつつも最低限の因子で、幅広い周波数帯 の解析に使用可能な等価回路を設計し、そのインピーダンス応 答からLIBの容量劣化を解析できる。加えて、低温条件下でイ ンピーダンス解析を行うことで、常温では議論出来なかったプ ロセスのより正確な解析が可能となることも見いだしている。		2012/07/12
研究	2012-0712-01	エネルギー	リチウム二次電池用長寿命 シリコン負極合成	特任研究教授 (当時)	本技術は、シリコンの還元析出と同時に有機溶媒が還元分解することで、ミクロなレベルでシリコンと有機無機複合体の混合物作製に成功した。得られたシリコン電極は、酸素、炭素がナノスケールで分散したアモルファスシリコンで構成され7000サイクル後においても約800mAh/gという非常に優れた差し繰る特性を示した。		2012/07/12
研究	2012-0313-03	エネルギー	環境調和型電動車両の設計・製作・性能評価	教授 理工学術院 大学院環境・エネル ギー研究科	本研究室では、これまでに電動バスや各種電動車両を開発してきている。特に電動バスについては、実用化レベルまで開発が進んでいる。これらの知見を基に、様々な電気車両を対象とした設計・製作・性能評価を行うことが可能である。		2012/03/13
研究	2012-0313-02	エネルギー	熱交換器内におけるナノ流 体による最大除熱量の増大	特任教授(当時) 理工学術院 大学院先進理工学研 究科	熱交換器内の媒体(水)にTiO2ナノ粒子を混ぜ、蒸気発生器を 数時間予備運転することにより、伝熱管内部にナノ流体が吸着 し、ナノ構造が形成される。それにより、除熱量が増大する。		2012/03/13
研究	2012-0312-02	エネルギー	自然災害に強いスマートコミュニティ/エコタウンの 設計と運用	特任教授(当時) 理工学術院 大学院環境・エネル ギー研究科	気象等に影響を受けやすい再生可能エネルギーを利用した地域エネルギー供給システムの構築には、電力を安定的に供給する技術が不可欠である。本研究室画、構築、評価を行うことができる。また、独立系の電力を確保することにより、災害に強い電力構成を構築することが可能である。技術的シーズと可能の表現である。とが、災害に強いての支援も可能なツールがあり、い規模組合せ問題の最適化アルゴリズム 2. ループ及びPV指定ノードを含む大地に対し象システムへの適用が可能である。1. 大規模組合せ問題の最適化アルゴリズム 2. ループ及びPV指定ノードを含む大地に対してルゴリズム 2. ループ及びPV指定ノードを含む大地に対してアルゴリズム 2. ループ及びPV指定ノードを含む大地に対してアルゴリズム 2. ループ及びPV指定ノードを含む大地に対しる。大出力を得るための太陽光がネルの最適配置決定アルゴリズム 4. 実規模電力系統の発電出力決定のための多目的最適化アルゴリズム 5. 途上国の電源開発のための大規模動的計画法の拡張高速アルゴリズム 6. 電気自動車の走行パターンを慮した充放電制御シミュレーション支援ツール 7. スマートグリズム 8. 熱と電気の融通を目的としたスマートコを実定アルゴリズム 8. 熱と電気の融通を目的としたスマートコを緩和でいます。 2. 無と電気の融通を目的としたスマートコを調を緩和する 9. 風力の地を緩和する 9. しい・ティーシステム最適化アルゴリズム 4. 無ないます。 2. 世界がアリー制御シミュレーション支援ツール 10. 地域主導の地産地消型エコンティ構築のためのエネルギーシステム最適化アルゴリズム		2012/03/12
研究	2012-0220-01	エネルギー	数値計算によるリチウムイ オンバッテリ内部輸送メカ ニズムの解明技術	教授 理工学術院 創造理工学部	汎用数値計算ソフトBDS (Battery Design Studio) にて設計したHEV (ハイブリッド車) 用リチウムイオンバッテリを用いて、「実機の定電流試験」シミュレーションを実施できる。シミュレーションにより獲得した基本特性である充放電曲線からバッテリ性能を効率で簡易的に表現しHEVシミュレータに導入可能である。		2012/02/20

種別	シーズ番号	分野	タイトル	研究者	シーズ概要	特許番号等	掲載日
研究	2011-0922-01	エネルギー	スマートグリッド実現に向 けたエネルギー制御手法の 開発	教授 理工学術院 先進理工学部 電気・情報生命工学 科	その双方を継続実現可能な次世代の最適な電気エネルギー供給 形態をトータルデザインするため、コンピュータシミュレーションと次世代スマートグリッド模擬実験によって先進的方法論 を開発する。		2011/09/22
研究	2011-0920-04	エネルギー	水蒸気圧縮ヒートポンプを 利用した省エネルギー・環 境技術	教授 理工学術院 理工学術院総合研究 所	蒸発プロセスから生ずる水蒸気を圧縮し、凝縮潜熱を引き続く蒸発に回収利用する画期的な省エネルギー蒸発脱水技術(VCC)を研究開発しており、理論設計は完成してプロトタイプ実験を経ている。さらに、実用化の要となる小型水蒸気コンプレッサーの高効率化も研究している。		2011/09/20
特許	2839	ものづくり 技術	チェーン構造体	教授 理工学術院 大学院情報生産シス テム研究科			2025/03/03
特許	2360	ものづくり 技術	複合材料(CFRP)を用いた 曲面の製造方法、製造シス テム	理工学術院 理工学術院総合研究 所		特許第752304 4号	2022/05/06
特許	2281	ものづくり 技術	酢酸の製造方法	教授 理工学術院 先進理工学部		特許第763674 7号	2022/05/02
特許	2268	ものづくり 技術	アルケン及び/又はアルカンの濃縮方法並びに濃縮装 置	教授 理工学術院 先進理工学部		特許第758664 7号	2021/10/11
特許	2243	ものづくり 技術	見えない物質から心のスト レスを見る	客員上級研究員 (当時) 研究院(研究機関)	◆ 由来の異なる多数の医学的に重要なストレス物質信号を検出 ◆ 1 チップ上の複数センサー信号から複数ストレス物質濃度を即時に推定◆ 日内変動,個人の特徴を考慮したストレスマネジメントフィードパック	特許第727677 4号	2021/06/07
特許	2186	ものづくり 技術	レドックスフロー電池シス テム	教授 理工学術院 先進理工学部		特許第723215 5号	2021/04/09
特許	2163	ものづくり 技術	αーオレフィンの製造方法	教授(当時) 理工学術院 先進理工学部		特許第732021 6号	2021/01/22
特許	2216	ものづくり 技術	イソブチレンの製造方法	教授 理工学術院 先進理工学部		特許第725027 7号	2020/12/08
特許	2179	ものづくり 技術	エチレンの分離方法	教授 理工学術院 先進理工学部		特許第724569 9号	2020/11/09
特許	2086	ものづくり 技術	微細なハイドロタルサイト を含有する吸着剤の製造方 法	教授 理工学術院 先進理工学部			2019/09/13
特許	427JPDIV	ものづくり 技術	電極接続方法及び電極接続 構造	教授(当時) 理工学術院 大学院情報生産シス テム研究科		第6667765号	2019/07/05
特許	1862	ものづくり 技術	3 Dナノ構造界面を有する 異種材直接接合	教授 理工学術院 基幹理工学部	◆ 熱可塑性炭素繊維強化複合材料(CFRTP)の自動車車体への適用及び、生産性,リサイクル性,燃費の向上◆ マルチマテリアル化によるCFRTPとアルミニウム合金(Al)の接合技術開発◆ Al表面上のナノスパイク構造(NSS)の作製◆ CFRTPとAlのホットプレスによる直接接合◆ シランカップリング処理による接着強度の向上	特許第680968 0号	2018/05/24
特許	1744	ものづくり 技術	ポーラス構造体の製造中間 体及びポーラス構造体の製 造方法	教授 理工学術院 基幹理工学部		特許第682937 3号	2017/10/25
特許	1910	ものづくり 技術	羽ばたき型飛行機	教授 理工学術院 基幹理工学部		特許第683156 6号	2017/06/23
研究	2017-0223-07	ものづくり 技術	熱処理による金属材料の疲 労き裂治癒	教授 理工学術院 基幹理工学部	◆ き裂先端近傍では約90%の疲労き裂治癒を実現◆ 約75%の静的引張強度の回復を実現 ◆ 真空加熱による酸化膜除去及び塑性誘起き裂閉口、原子拡散による疲労き裂治癒		2017/02/23
研究	2017-0223-06	ものづくり 技術	3 Dナノ構造界面を有する 異種材直接接合	教授 理工学術院 基幹理工学部	◆ Al表面上のナノスパイク構造(NSS)の作製◆ CFRTPとAlのホットプレスによる直接接合◆ シランカップリング処理による接着強度の向上		2017/02/23
研究	2017-0223-03	ものづくり 技術 エネルギー	簡易組み立て工程で実現す るポリマーエナジーハーベ スター	研究院(研究機関)	◆ metal nanoinkとインクジェットプリンタで配線 ◆ 圧電 材料はVDF/TrFE、スピンコート法で塗布◆ 1μJを超える発電量		2017/02/23
研究	2016-0614-01	ものづくり 技術	医療手技訓練用ヒューマ <i>ノ</i> イド	教授 理工学術院 理工学術院総合研究 所	医師など医療従事者の訓練に用いる患者シミュレータに関する 技術.アクチュエータによって1台のシミュレータでさまざま な患者を再現することや,センサによって手技を計測し評価す ることが可能.		2016/07/14
特許	1231	ものづくり 技術	羽ばたきロボット	教授 理工学術院 基幹理工学部	羽ばたき運動を行う小型の無人飛翔体(MAV)であり、 フラッピングやフェザリングの角度を自由に変更出来る。	第5857658号	2013/12/25

種別	シーズ番号	分野	タイトル	研究者	シーズ概要	特許番号等	掲載日
特許	806	ものづくり 技術	有機高分子製品に自己消火 性を付与する改質剤および その使用方法並びに自己消 火性を有する有機高分子製 品	客員教授(当時) 理工学総合研究セン ター	プラスチック、ゴム、木材、紙などの有機高分子製品において、その物性を低下させることなく簡易かつ低コストで自己消火性を付与することができる。火災時に有毒ガスを発生させるハロゲン化合物などの物質を用いないため、環境に対する負荷も極めて小さい。有機高分子製品を用いる全ての産業に利用可能で、特に住宅産業や自動車産業での利用が期待される。	第4332578号	2013/12/25
特許	797	ものづくり 技術	切削研削用組成物、切削研 削油剤、切削研削用ホイー ル及び表面改質材	教授(当時) 理工学術院 理工学術院総合研究 所	本発明は、環境負荷が極めて低い鉱物微粒子を、切削・研削油 剤等に分散もしくは加工工具表面に付着し加工することで、加 工精度及び工具寿命の向上に寄与する。	第5476666号	2013/12/25
研究	2012-0618-01	ものづくり 技術	循環型生産実現のためのラ イフサイクルシミュレーション技術	教授(当時) 理工学術院 創造理工学部	製品の企画・開発段階で、環境負荷削減策を組み込むために、 設計、製造、仕様、回収、再生といった製品ライフサイクル全 体を計画・評価するための、ライフサイクルプランニング技術 とライフサイクルシミュレーション技術。		2012/06/18
研究	2011-0922-04	ものづくり 技術	液晶広角中心窩レンズ	客員主任研究員 (当時) 理工学術院 理工学術院総合研究 所	外部印加電圧により屈折率を制御できる液晶材料を用いた素子を応用し、120度の広い視野を維持したまま、(単数〜複数の))注目点の位置や拡大率を変化させることができる液晶広角中心窩レンズの開発に取り組んでいる。1.5mmの薄さの光学レンズ(液晶レンズセル)により構成されており、メカニカルな可動部は不要である。		2011/09/22
研究	2011-0914-04	ものづくり 技術	ポーラス金属の製法と機械的性質の改善	教授 理工学術院 基幹理工学部	溶湯発泡法を用いた各種アルミニウム合金の製法(気孔安定化への提言) 塑性加工(圧延、押出し、ワイヤブラッシング、ショットピーニングなど)によるポーラス金属の強化技術。		2011/09/14
特許	2950	社会基盤	静的ハンドジェスチャー認 識システムおよび識 プロ グラム	教授 理工学術院 大学院情報生産シス テム研究科			2025/10/20
特許	2980	社会基盤	足部の姿勢調整構造	教授 理工学術院 創造理工学部			2025/10/20
特許	2948	社会基盤	超音波画像の探索支援装置 及びそのプログラム	教授 理工学術院 創造理工学部			2025/10/20
特許	2894	社会基盤	情報処理装置、情報処理方 法およびプログラム	准教授 理工学術院 基幹理工学部			2025/10/20
特許	3001	社会基盤	超音波プローブのジェル塗 布システム	教授 理工学術院 創造理工学部			2025/10/20
特許	2702	社会基盤	超音波検査を効率化する画 像探索技術 〜心尖部四腔 断面を自動描出〜	教授 理工学術院 創造理工学部	本技術は、心臓超音波検査における心尖部四腔断面の画像を自動的に取得するための探索装置とそのプログラムです。深層学習に基づく画像解析により、プローブの適切な位置・姿勢を推定し、熟練技師でなくとも診断に有用な断面画像の取得が可能になります。これにより、検査の効率化と医療従事者の負担軽減の実現が期待されます。	第7696641号	2025/07/08
特許	2970	社会基盤	切り紙構造角度制御装置	教授 理工学術院 基幹理工学部			2025/07/07
特許	2947	社会基盤	固相抽出デバイス、及び、 固相抽出方法	教授 理工学術院 大学院情報生産シス テム研究科			2025/07/07
特許	2900	社会基盤	異常予兆検知システム、異常予兆検知方法及びプログラム	教授 理工学術院 理工学術院総合研究 所			2025/06/27
特許	2869	社会基盤	熱電発電デバイス用基板及 び熱電発電デバイス	教授 理工学術院 基幹理工学部			2024/12/03
特許	2843	社会基盤	被子植物の原形質流動活性 化剤、成長促進剤、及び成 長促進方法	教授 教育・総合科学学術 院 教育学部			2024/12/03
特許	2806	社会基盤	触覚センサ及び触覚センシ ングシステム	次席研究員			2024/08/05
特許	2787	社会基盤	知覚支援システム、評価装 置及びそのプログラム	教授 理工学術院 創造理工学部			2024/07/05
特許	2645	社会基盤	人間の動きを先読みできる ロボット	客員上級研究員 理工学術院 理工学術院総合研究 所	このシーズは、ロボットが人間と協働して効率的に作業を行うための動作制御システムで、主な特徴は以下の通り。①人間の行動推定:人間の位置情報や速度情報の時間的変化を解析し、タスクに対する行動を推定。②動作計画:推定結果に基づき、ロボットの通常行動、依頼行動(ロボットがタスクを人間に依頼)、支援行動(ロボットが人間を支援)の中から最適な行動を選択。③協働作業コスト:タスクごとの負荷を計算し、作業の効率を最大化。④柔軟性:状況に応じてリアルタイムで動作を調整。	特開2024-162 293	2023/07/06
特許	2641	社会基盤	歩行補助装置	教授 理工学術院 大学院情報生産シス テム研究科		特開2024-125 944	2023/05/10

種別	シーズ番号	分野	タイトル	研究者	シーズ概要	特許番号等	掲載日
特許	2591	社会基盤	待機・迂回を含む後退的行動と接近・接触を含む前進的行動を併せ持つ自律移動ロボットの統合的軌道計画	客員上級研究員 理工学術院 理工学術院総合研究 所		特開2024-029 789	2022/10/07
特許	2515	社会基盤	照射線量推定装置および照 射線量推定方法	教授 理工学術院 先進理工学部 応用物理学科		特許第746166 4号	2022/05/02
特許	2462	社会基盤	運動促進用超小型軽量ハプ ティック式歩行補助シュー ズ	教授 理工学術院 大学院情報生産シス テム研究科	世界最小最軽量の歩行補助機。モータ等のアクチュエータを使用せず、振動スピーカを足裏(母指球下)と足の甲(中足骨上)に備え、 非対称波形の振動を適切なタイミングでそれぞれ出力する。すると力の補助はしないが靴が足の底背屈動作を促し、使用者自身の力で地面を蹴り、つま先を上げるので歩行運動を促進する。	特開2023-771 51	2022/01/17
特許	2505	社会基盤	僧帽弁を基点とした傍胸骨 左縁左室長軸像探索手法	教授 理工学術院 創造理工学部		第7698306号	2021/12/08
特許	2504	社会基盤	心エコー検査ロボット	教授 理工学術院 創造理工学部		第7668529号	2021/12/08
特許	2484	社会基盤	目的地周辺の人の位置やロボットのタスク内容等に合わせて適切なゴール位置を動的探索するシステム	客員上級研究員 理工学術院 理工学術院総合研究 所		第7652389号	2021/10/12
特許	2485	社会基盤	接触力と連続的な剪断力を提示可能な3軸ウェアラブルハプティックデバイス	客員上級研究員 理工学術院 理工学術院総合研究 所		第7677603号	2021/09/06
特許	2457	社会基盤	病変状態を模擬した心臓弁 等の臓器モデルの作製	教授 理工学術院 大学院先進理工学研 究科 共同先端生命医科学 專攻		特許第760331 6号	2021/05/14
特許	2387	社会基盤	自律移動サービスロボット のための先導・追従行動計 画システム	客員上級研究員 理工学術院 理工学術院総合研究 所	本発明は、所定の目的地まで歩行者等の移動対象を先導し、また、荷物運搬や警護等のために移動対象に追従するタスクを行うための自律移動ロボット、並びに、その制御装置及び制御プログラムに関するものであり、混雑した空間内において想定される様々な不測の事態に対応しながら、サービスタスクを継続させられることを特長とする行動計画手法である。	特許第747839 3号	2020/11/09
特許	2392	社会基盤	クラッチ機構を用いた動的 重力補償ロボットシステム	客員上級研究員 理工学術院 大学院創造理工学研 究科		特許第750278 1号	2020/11/09
特許	2363	社会基盤	歩行者の移動予測技術およびそれに基づく移動ロボットの経路計画アルゴリズム	客員上級研究員 理工学術院 理工学術院総合研究 所	本発明は、人の速度ベクトルの測定誤差と将来的な速度ベクトルが現在の値を保持するかを示す保持可能性を考慮することで、軌道計画のロバスト化を目指した経路計画アルゴリズムを提案するものである。人の速度ベクトルの測定誤差と保持可能性を考慮した働きかけのタイミングの決定および人とロボットが互いに避けるために必要となる回避量の調整、さらに、安全に人を回避するための枠組みとして行動の制限を行う。	特許第752585 4号	2020/08/21
特許	2321	社会基盤情報通信	ロボットになりきるための 遠隔操縦システム	理工学術院 理工学術院総合研究 所	本シーズは、人間の高い運動安定能力を生かしたロボット操縦を可能とするため、ロボットやバーチャルキャラクターといった操縦対象の行動時の安定維持に必要な情報として視覚や足裏力覚情報などを操縦者が理解しやすいよう変換して提示し、さらに操縦者と操縦対象の身体の大きさや重さ・運動能力といった身体的ズレを補正した操縦指令を生成することにより、効果的な操縦を実現する。	特許第744438 9号	2020/06/17
特許	2356	社会基盤	複数人移動予測に基づく混 雑環境下でのロボットの接 近・接触移動技術	客員上級研究員 理工学術院 理工学術院総合研究 所	混雑環境下で自律移動するロボットの経路生成に適した周囲の 人間等を含む移動予測モデルを構築し、ロボットの移動効率と 周囲の人間等に与える負担を考慮しながら、最適な移動経路を 生成することができるロボット、移動経路生成装置及びそのプ ログラム、並びに、移動予測装置を提供する。	特許第749019 3号	2020/06/17
特許	2252	社会基盤	心臓弁尖作製用機器で作成 した弁、縫合ガイド、およ び、弁尖作製用機器	教授 理工学術院 大学院先進理工学研 究科 共同先端生命医科学 専攻			2019/12/11
特許	2247	社会基盤	自己伸展型長尺構造物	教授 理工学術院 理工学術院総合研究 所		特許第731962 9号	2019/10/16
特許	2246	社会基盤	妊婦超音波検査ロボットに おける画像鮮明性を維持可 能な腹部非下降走査デバイ ス	教授 理工学術院 創造理工学部		特許第727092 8号	2019/10/16
特許	2220	社会基盤	ドライバーの状況認識推定 ・安全運転システム	客員上級研究員 理工学術院 理工学術院総合研究 所	本発明は、状況認識推定システム及び運転支援システムに係り、更に詳しくは、所定の対象者の周囲を相対移動する認識対象物について、その対象者が適切に認識しているか否かを推定する状況認識推定システム、及び当該状況認識推定システムを利用して、対象者による自動車等の移動体の運転支援を行う運転支援システムに関する。	特許第743219 8号	2019/07/30

種別	シーズ番号	分野	タイトル	研究者	シーズ概要	特許番号等	掲載日
特許	2182	社会基盤	MR流体を用いた逆可動性を 有する小型パワフルアクチ ュエータ	客員上級研究員 理工学術院 理工学術院総合研究 所	人の代替労働力・サポート手段として活躍が期待されるロボットのアクチュエータには、高出力性や高応答性、機構的高柔軟性、堅牢性、良制御性、高エネルギー効率といった諸特性を兼ね備えることが求められている。本シーズは、特に、高出力性と逆可動性という特長を有する磁気粘性流体(MR流体)を用いた流体駆動アクチュエータを提供することができる。	特許第720337 9号	2019/07/05
特許	2067	社会基盤	心電モニタリングシステム	教授 理工学術院 創造理工学部		特許第709656 5号	2018/06/13
特許	1991	社会基盤	超音波プローブ移動装置	教授 理工学術院 創造理工学部		第7014383号	2018/01/15
特許	1986	社会基盤	「ロボットから人への意図 伝達度」に着目した移動ロ ボットの行動戦略	客員上級研究員 理工学術院 理工学術院総合研究 所	移動体と移動障害物との協調移動のために、「ロボットから人への意図伝達度」に着目した人状態推定手法を開発し、双方の動作結果を踏まえた連続的な働きかけ手法を提案する。ロボットのすれ違い幅から働きかけの必要性を判定する「卍渉度」、人のロボットに対する認知の有無を判断する「認知度」、ロボットの働きかけがどの程度達成されたかを計算し、再度の働きかけ必要性を判断する「働きかけ達成度」で構成されている・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7036399	2018/01/15
特許	1913	社会基盤	能動的接触力調整エンドエ フェクタ	理工学術院		特許第691650 0号	2017/06/20
特許	1912	社会基盤	停電時の安全性を持つ可変 トルクリミッタ	客員上級研究員 理工学術院 大学院創造理工学研 究科		特許第686698 1号	2017/06/20
特許	1911	社会基盤	可変トルクリミットアクチ ュエータの制御システム	客員上級研究員 理工学術院 大学院創造理工学研 究科		7028410	2017/06/20
特許	1616	社会基盤	MR流体を用いたバックドラ イバブルアクチュエータ	客員上級研究員 理工学術院 理工学術院総合研究 所	高応答・高出力・安全性が求められる次世代のロボットシステムには、予期しない外力の付与に対して迅速に応答可能な柔軟性を有する新たなアクチュエータが要請されている。 本シーズは、応答時間の短縮化を図るとともに、比較的簡易な構成で柔軟性を発揮させることができるバックドライバブルアクチュエータを提供することにある。	特許第649396 2号	2017/02/20
特許	1872	社会基盤	MR流体を用いた逆可動性を 有するロータリアクチュエ ータ	客員上級研究員 理工学術院 理工学術院総合研究 所	高応答・高出力・安全性が求められる次世代のロボットシステムには、予期しない外力の付与に対しても迅速に応答可能な柔軟性を有する新たなアクチュエータが要請されている。本シーズは、応答時間の短縮化を図るとともに、比較的簡易な構成で本質的な柔軟性を発揮させることができる逆可能型のロータリアクチュエータを提供することにある。	特許第686356 2号	2016/12/06
特許	1804	社会基盤	歯磨きロボット	教授 理工学術院		第6675733号	2016/04/11
特許	1569	社会基盤	創造的人工脳	教授 理工学術院 基幹理工学部	従来型コンピュータは将棋チェスをするものや入試問題を解くものも含めてどれも、決められた仕事を早くこなすためのものであった。ヒトのようなアイデアを出せる人工知能を目指す第一歩として、ヒトの脳の神経細胞群の結合様式(空間パターン)を実験的に解明する研究が進められているが不明であった。そこで、化学反応論と分子生物学のデータを体系的に分析したところ、その解明ができた。	特許第636763	2016/03/18
特許	1556	社会基盤	半側空間無視の注意再獲得 支援システム	教授 理工学術院 創造理工学部	半側空間無視患者に対するリハビリテーションを支援するためのシステムであり、訓練用画像内の一部領域のみを視認可能にするスリット領域を移動、拡大させるように訓練者に提示することで、訓練者の訓練用画像に対する注意部分を移動させる。これにより、訓練者は、「固定」、「解放」、「移動」の各能力を増進させることが可能になる。	特許第630846 4号	2016/01/06
研究	2015-1215-07	社会基盤	「音楽」による人間とロボ ットの交流	教授 理工学術院	◆楽器演奏ロボットには共演者との意思疎通能力が必要(Fig.2) ◆言語以外の方法での意思疎通が必要◆マルチセンサ:多種の情報をリアルタイムに同時取得(Fig.3)		2015/12/15
研究	2015-1215-06	社会基盤	「笑い」による人間とロボ ットの交流	教授 理工学術院	◆笑いのリアルタイム計測システム(Fig.2)◆ウェアラブル:非 侵襲かつポータブル◆マルチセンサ:運動および生理的変化を 計測		2015/12/15
研究	2015-1215-05	社会基盤	高齢者のバランス能力評価 のための装着型センサ	教授 理工学術院	◆慣性測定ユニット(IMU)により動きを計測(Fig. 1)◆成人を対象とした片足立ち試験(Fig. 2)◆片足立ち試験の自動分析(Fig. 3)◆歩行異常の自動認識(Fig. 4)		2015/12/15
研究	2015-1215-04	社会基盤	潜在意識に働きかける内視 鏡訓練システムの開発	教授 理工学術院	◆実験環境と設備 (fig.1) ◆異なるフィードバック (fig.2) ◆ 最初の訓練試行と最後の訓練試行の姿勢の差 (fig.3) ◆訓練中 の作業負荷 (fig.4)		2015/12/15
研究	2015-1215-03	社会基盤	可変剛性関節を備えたロボ ットアーム	客員上級研究員 理工学術院 大学院創造理工学研 究科	◆柔軟性を調整可能なアクチュエーター◆プログラミングの容易性◆7自由度のロボットアーム、リーチは1m、可搬重量は5kg		2015/12/15
研究	2015-1215-02	社会基盤	ロポットアーム、ハンド用 の小型力覚・トルクセンサ	客員上級研究員 理工学術院 大学院創造理工学研 究科	◆新たな静電容量型 6 軸力覚・トルクセンサ◆分散触覚センシング用の新たな 3 軸力覚センサ		2015/12/15
研究	2015-1215-01	社会基盤	遠隔妊婦健診向け超音波検 査支援ロボット	教授 理工学術院 創造理工学部	◆【オンライン健診】リアルタイムで医師が遠隔から超音波画像、妊婦映像を見ながらTenangを操作・診断◆【オフライン健診】Tenangの自動走査で予め超音波画像を取得・伝送、産科医が再構築システムを用いて診断		2015/12/15

種別	シーズ番号	分野	タイトル	研究者	シーズ概要	特許番号等	掲載日
特許	1749	社会基盤	血液濾過器の流れの可視化試験装置	教授 理工学術院 大学院先進理工学研 究科 共同先端生命医科学 專攻		第6590278号	2015/11/05
特許	1488	社会基盤	分散設置型インタラクティ ブ運動支援システム	教授 理工学術院 創造理工学部	参加者の運動を運動中に評価し、適切さについてのフィードバックを複数の画像などの感覚情報として与えることにより、参加者が運動の不適切さに気づき、自身で適切な運動を形作っていけるように誘引するシステム	特許第627011 5号	2015/07/10
研究	2011-0929-01	社会基盤	インドにおけるイスラーム 建築史からみる震災復興と リビングヘリテージ保全	研究院(研究機関) イスラーム地域研究 機構	インド・グジャラート州カッチ地方ムンドラ県バドレシュワルの地図作成(平板測量)と宗教・カースト制によるコミュニティ分類、インド洋交易で栄えた時代の建造物遺産に関しての知見を持つ。震災復興支援においては、リピングへリテージ保護・その他建造物保護のための住民教育やインド都市開発企業との連携活動も実施しており、インド・イスラーム圏における人的ネットワークを有する。		2011/09/29
研究	2011-0921-01	社会基盤	中国東北地方の人口・社会変動	無期非常勤講師 社会科学総合学術院 社会科学部	中国東北地方に住む朝鮮族においては、中国内における民族としての競争力強化のため、特に独自の教育に力を入れている。例えば、延辺大学では朝鮮語・漢語に加えて日本語教育にも熱心であり、日本の大学への留学・就職率は高い。このため、朝鮮族の教育レベルの高さはもとより、親日性が特徴のひとつである。今後の発展が期待される中国東北地方の情勢を、主に民族的教育と社会への適応の変遷についての観点から、情報を提供できる。		2011/09/21
研究	2011-0907-02	社会基盤	アニメーション制作ワーク フローの科学的分析と長期 的人材育成	准教授(当時) 付属機関・学校 高等研究所	企業毎のアニメ制作工程におけるワークフローをエスノグラフィー分析により詳細に分析した結果を基に、個々の作業プロセスをシミュレーションにより再現することが可能。このモデルを基に、効率性と長期的なアニメ・コンテンツ制作人材育成の観点から業務分担のアドバイスが可能。		2011/09/07
研究	2011-0907-01	社会基盤	研究開発における産学・企 業間アライアンスの定量的 評価・探索手法	准教授(当時) 付属機関・学校 高等研究所	特許データと論文データという客観的データを用いて、組織の 境界を越えた知識共創(コラボレーション)が、研究開発能力 の向上に与える影響を分析できる。 分析結果を通じ、与えられた課題に最も適した「コーディネー ター」を選ぶことで、コーディネーターの持つネットワークを 活用して最小限の時間・労力・経費で異業種ネットワークを構 築できる可能性がある。		2011/09/07
研究	2011-0906-04	社会基盤	グリーンメーカー・グリー ンコンシューマーを育てる 指標づくり	教授 社会科学総合学術院 社会科学部	企業の環境配活動がもたらす環境影響評価を幅広い視点から評価するために産業連関分析の手法を応用する。また、消費者行動や、企業自身の行動を相対的に評価・分析するために、家計調査、工業統計調査など、社会統計を用いた計量経済学的手法を応用する。それによって、消費者の満足度(効用指標)、企業の生産コスト、環境影響(ある製品の生産によるLCA的CO2排出)等を同時に考えたとき、 1. ペットボトル飲料は冷蔵販売するか常温品を販売するか2. 公共交通利用を促進するかカーシェアリングを進めるか3. エコハウスに建て替えるか既存住宅を改修するか4. レストランを利用するか家庭調理食を便利にするか(そのとき中食(惣菜、レトルトを付与するか(そのときポイントの使途は(環境配慮型使途に限定か)?)といった二者択一の難しい問題に対して、社会全体としてCO2排出を押し下げていけるようにするには、どうすればよいか、そのために企業はどのような情報発信をするべきかを考察する。		2011/09/06
特許	2993	フロンティア	ボードゲーム装置	准教授 人間科学学術院 人間科学部			2025/10/20
特許	2976	フロンティア	浴槽掃除装置	教授 理工学術院 理工学術院総合研究 所			2025/10/20
特許	2964	フロンティア	自然言語により表現された 問題に対する回答を計算に より推論するためのプログ ラム、方法、ならびに、装 置	教授 理工学術院 基幹理工学部			2025/10/20
特許	2958	フロンティア	ロボットの動力伝達システム	客員上級研究員 理工学術院 大学院創造理工学研 究科			2025/10/20
特許	2927	フロンティア	ジャイロスコープ、ジャイ ロスコープシステム、ジャ イロスコープの制御方法及 びプログラム	教授 理工学術院 大学院情報生産シス テム研究科			2025/10/20
特許	2928	フロンティア	腕動作補助装置	教授 理工学術院 大学院情報生産シス テム研究科			2025/07/07

種別	シーズ番号	分野	タイトル	研究者	シーズ概要	特許番号等	掲載日
特許	2378	フロンティア ナノ・材料	画像処理方法、画像処理装置、X線回折装置およびプログラム	教授 理工学術院	本シーズは、データ分析で用いられる密度ベースクラスタリングを応用した画像処理技術に関します。本シーズによれば、平面画像を構成する各画素に対応する位置に各画素の画素値に応じた密度で点を配置し、それらの点に密度に基づくクラスタリングを実行することで、所望の画素値を有する画素が密に集まる領域を簡便に分離することが可能となります。	第7688868号	2022/07/11
研究	2018-0402-01	フロンティア ものづくり 技術	視知覚の数理科学とその産業応用、特に各種画像処理技術、錯視、商用アートへの展開.	教授 教育・総合科学学術 院	新井研究室では、人の視覚系が行っている脳内の情報処理を最 先端の数学を使って研究し、更に画像処理、錯視(目の錯覚) 、商用アートへの応用を行っています。また人の視覚を超えた 超視覚システムの研究もしています。これまでに次のような発 明をして、複数の特許を取得した。本研究の展開と産業応用に 関する提案を歓迎します。これまでの主な成果は次のものです 。錯視の数学的方法による生成技術とパッケージ利用 人の 視覚に優しい画像鮮鋭化 視認し難い対象物を容易に視認でき るようなエッジ検出 新しいFIRフィルタ設計技術 色の対比 錯視のコンピュータによる再現と逆問題の解決		2018/04/26
研究	2015-0303-08	フロンティア ナノ・材料	極短電子線パルス発生装置	付属機関・学校 高等研究所	・高品質・極短電子線パルスを電子銃単体にて発生・高周波加 速による小型かつ超高圧電子線の実現		2015/03/03
研究	2012-0928-02	フロンティア	テラヘルツ領域における高 分子の誘電特性解明	特任研究教授 (当時) 理工学術院 先進理工学部	当研究室においては、誘電体を研究対象として、その電気的性質、光学的性質を調べている。対象としている誘電体の種類は以下のものである。 ・ポリマー研究、電子デバイス研究、応用光学研究 ・原子力・加速器応用研究		2012/09/28

お問い合わせ先 早稲田大学 リサーチイノベーションセンター

E-mail : contact-tlo@list.waseda.jp URL : https://www.wrs.waseda.jp/seeds/ja/